

第9期東郷町高齢者福祉計画策定の ためのアンケート調査結果報告書 【抜粋版】

I	調査の概要.....	2
II	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果.....	5
III	在宅介護実態調査の結果	23
IV	ケアマネジャー調査の結果.....	33
V	事業所調査の結果.....	37
VI	介護人材実態調査の結果	39

I 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、「第8期東郷町高齢者福祉計画」が令和5年度をもって満了となることから、新たな計画づくりに向けた基礎資料として、本町在住の65歳以上の高齢者、要支援・要介護認定者及び本町の利用者のサービス計画作成に携わっているケアマネジャー、介護サービスを提供している事業者等を対象として、本町の高齢者福祉に関する実態や高齢者の現状を把握し、高齢者福祉の推進に活用することを目的として実施します。

2. 調査設計

全体で7種の調査を実施しました。各調査の対象、方法等は下表のとおりです。

調査種別	対象	調査基準日	調査期間	調査方法
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	本町在住の65歳以上から2,200人を無作為抽出	令和5年 1月1日	令和5年 1月24日 ～2月14日	郵送による 配布・回収
在宅介護	本町在住の要支援・要介護認定者から1,000人を無作為抽出			
ケアマネジャー	本町で居宅サービス計画作成しているケアマネジャー42人			
事業所対象調査	本町の介護保険サービス事業者35事業者			電子メール による配布・回収
在宅生活改善調査	本町の居宅介護支援事業者12事業者及び本町でケアマネジャー42人			(在宅生活改善調査のケアマネジャー分は郵送による配付・回収)
居所変更実態調査	本町の施設系介護保険サービス事業者16事業者			
介護人材実態調査	本町の介護保険サービス事業者35事業者			

3. 回収結果

各調査の回収結果は下表のとおりです。

調査種別	配付数	有効回収数	回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2,200 件	1,547 件	70.3%
在宅介護実態調査	1,000 件	575 件	57.5%
ケアマネジャー対象調査	42 件	32 件	76.2%
事業所対象調査	35 件	35 件	100.0%
在宅生活改善調査	事業者 12 件 ケアマネジャー42 人	事業者 12 件 ケアマネジャー32 人	100.0% 76.2%
居所変更実態調査	16 件	16 件	100.0%
介護人材実態調査 (事業者向け)	35 事業者 延べ 48 件 (訪問系 12、通所系 15、 施設・居住系 21)	35 事業者 延べ 48 件 (訪問系 12、通所系 15、 施設・居住系 21)	100.0%

4. 調査結果の見方

- ◇回答結果の割合「%」は集計対象者総数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、選択肢からいずれか1つの選択肢を選ぶ設問であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- ◇複数回答（特に表記のない場合は、当てはまる選択肢を全て選択する形式）の設問の場合、各選択肢の回答割合の合計が100.0%を超える場合があります。この形式の設問については、質問文の末尾に「複数回答」と表記しています。
- ◇図表中の「%」は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、単数回答の設問（1つだけに○をつけるもの）であっても、合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合（当てはまるものすべてに○をつけるもの等）は、「n」に対する各選択肢の回答者数の割合を示します。
- ◇図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

◇本文中の設問・選択肢、図表中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま、選択肢の順に記載していますが、一部、必要に応じて省略しています。

◇表中の網掛けは、「不明・無回答」を除き、最も割合の高い項目と二番目に割合の高い項目を表しています。なお、回答者(n)が10未満の場合は、順位を表記を省略し、読み取り文の対象外としています。さらに、クロス集計において性別、年齢別、要介護度別等の回答者(n)が回答者なし(0)の場合は、掲載を省略しています。

◇全体の調査結果について、令和元年度に実施した前回調査との比較を行っています。令和元年度調査の概要は下記のとおりです。なお、今回調査は「本報告書中での表記」の「R1」を「R4」として報告書中で表記しています。

調査種別	本報告書中での表記	配付数	有効回収数	回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	R1年一般高齢者	2,200件	1,639件	74.5%
在宅介護	R1年在宅介護認定者	1,000件	613件	61.3%
ケアマネジャー	R1年ケアマネジャー	36件	32件	88.9%
事業所	R1年事業所	30件	29件	96.7%

◇調査結果について、地域ごとの状況を把握するため、日常生活圏域別に集計結果を示していることがあります。本町の日常生活圏域は北部と南部の2圏域となっており、それぞれに含まれる地区は下記の通りです。

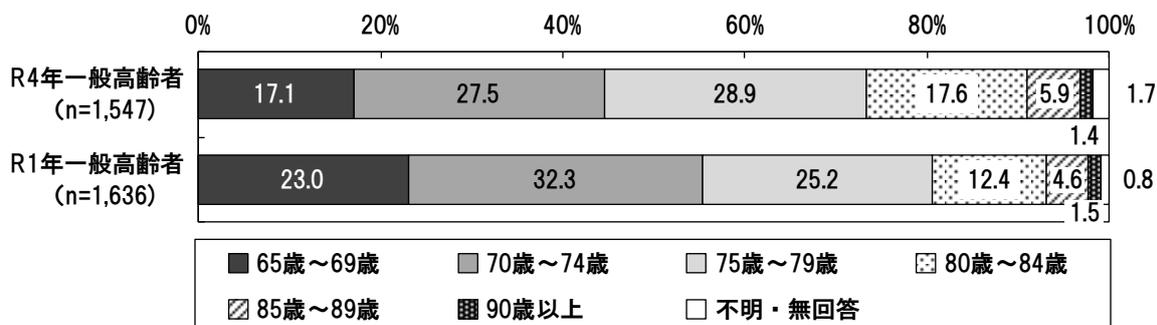
圏域	含まれる地区
北部	諸輪、和合、和合ヶ丘、諸輪住宅、白鳥、御岳、押草団地南、押草団地北、北山台
南部	傍示本、祐福寺、部田、白土、春木台、西白土、清水、兵庫、三ツ池

Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

1. 回答者について

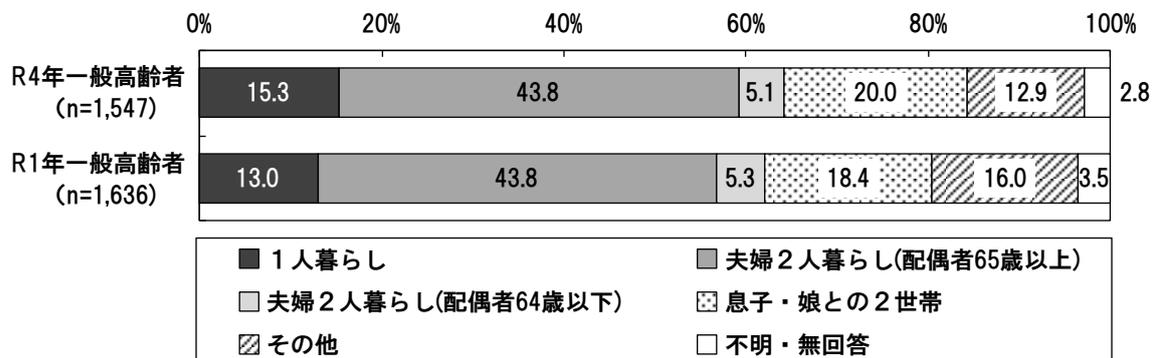
(1) 回答者の年齢

◆回答者の年齢は全体的に高齢化しています。



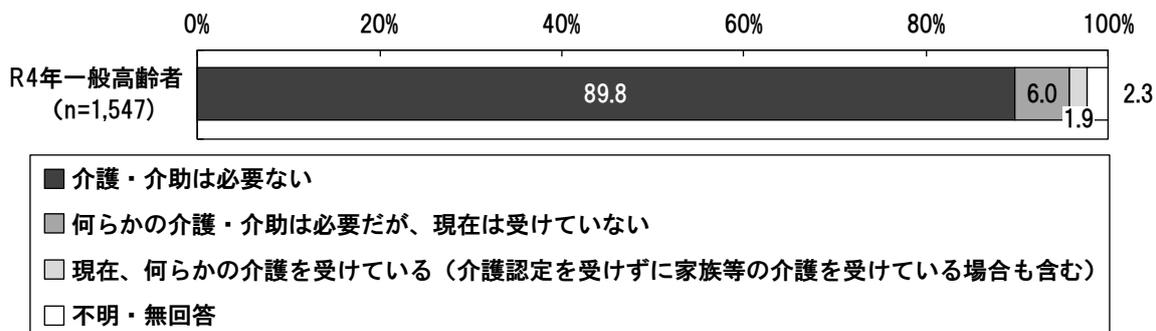
(2) 回答者の家族構成

◆1人暮らしがやや増加し、「その他」が減少しています。



(3) 介護・介助の必要

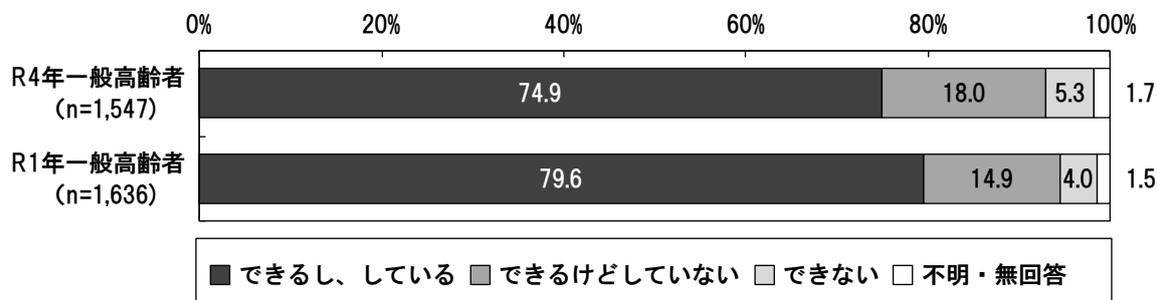
◆介護・介助が必要だが受けていない人が6.0%となっています。



2. 外出について

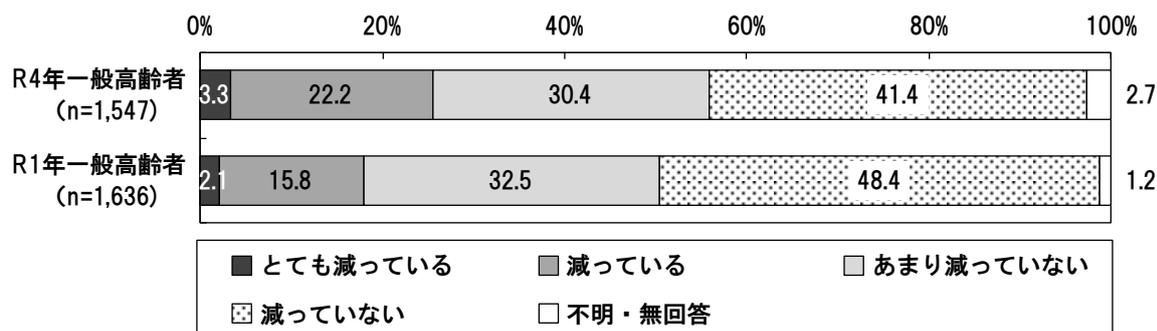
(1) 続けて15分歩いていますか

◆続けて歩くことを「できるけれどしていない」が増加しています。



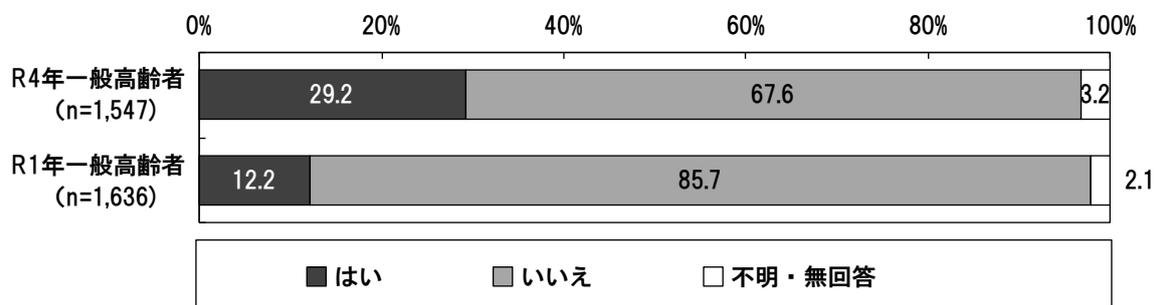
(2) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

◆外出が減っている人が前回調査より増加しています。



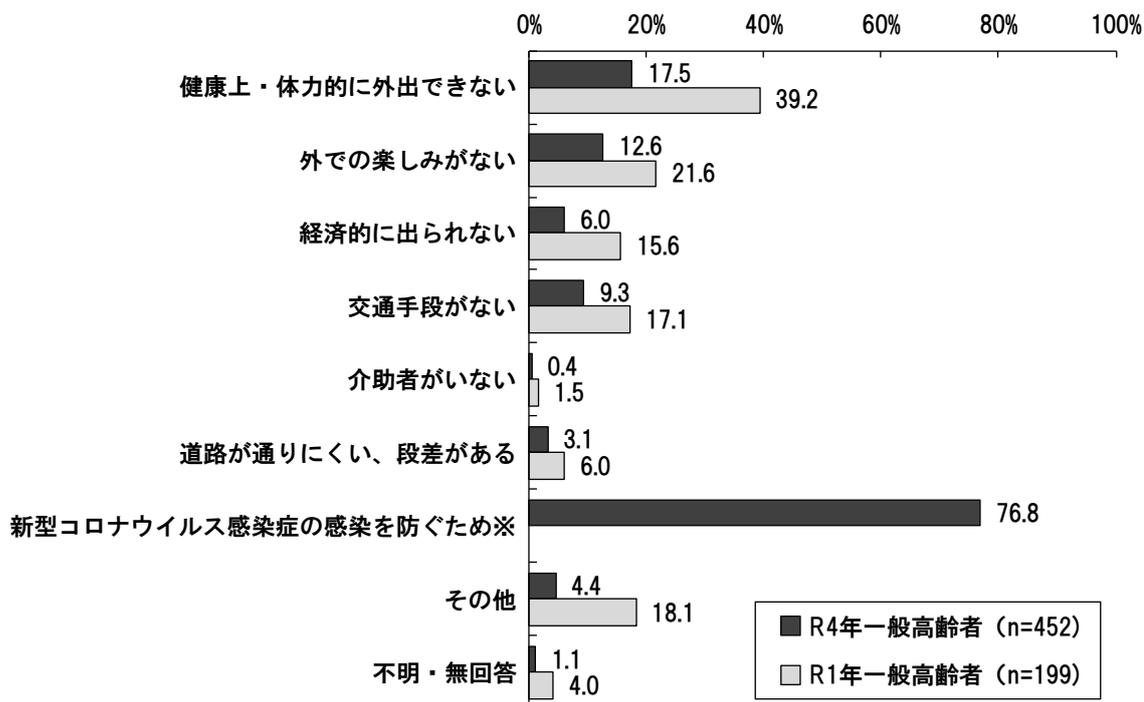
(3) 外出を控えていますか

◆外出を控えている人が大幅に増えています。



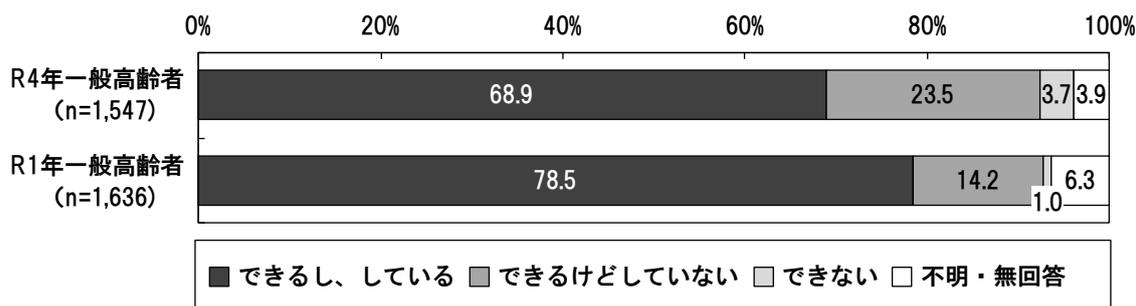
(4) 外出を控えている理由

◆感染症防止が最も多くなっています。



(5) バスや電車等（自家用車を含む）を使って1人で外出していますか

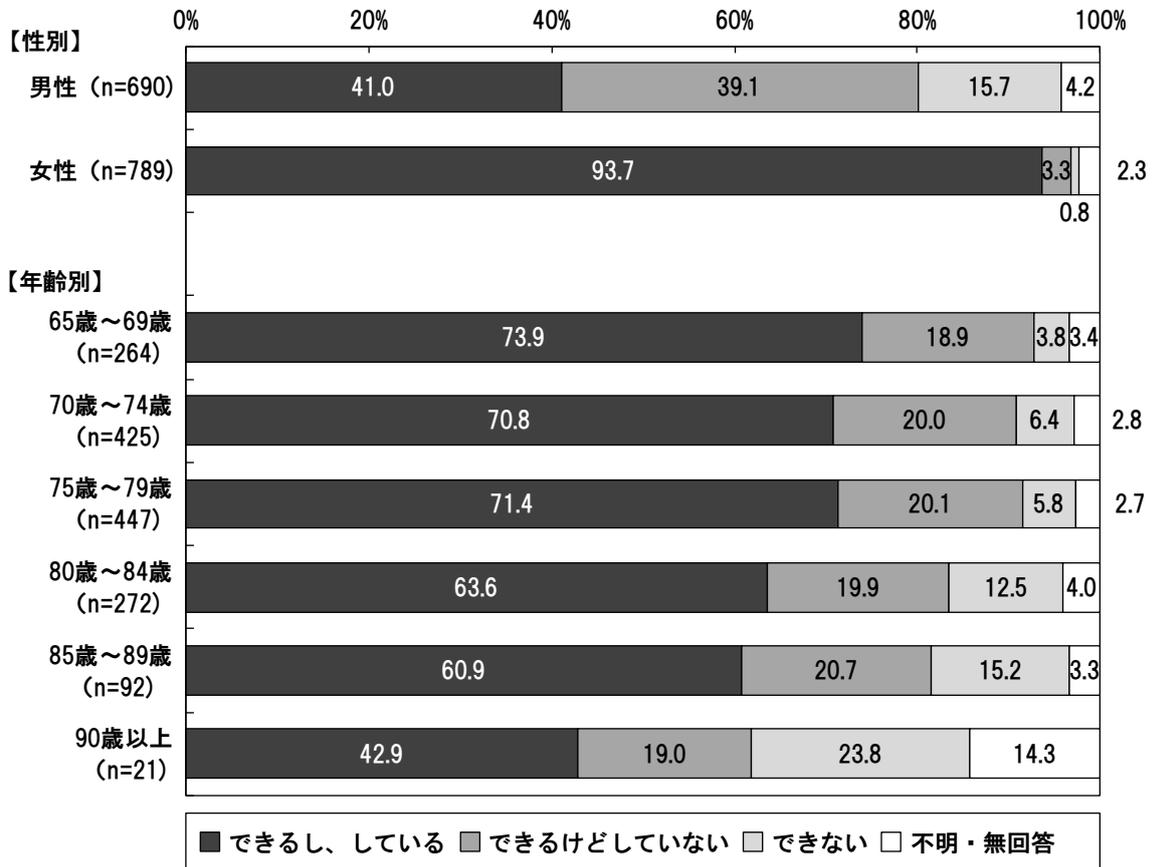
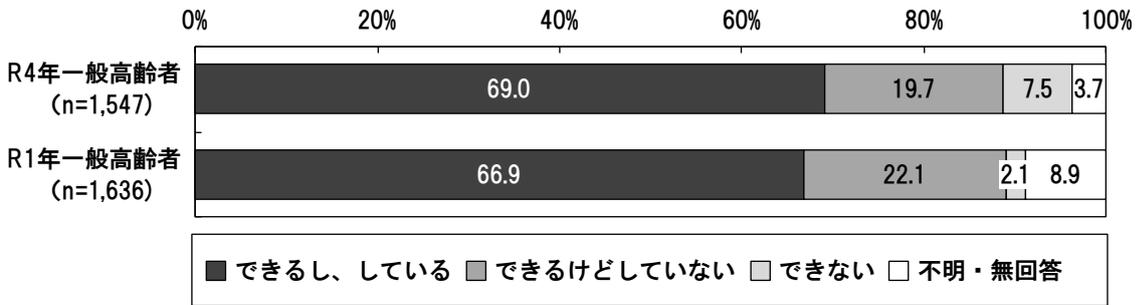
◆バスや電車等での外出も「できるけどしていない」が増加しています。



3. 日常生活について

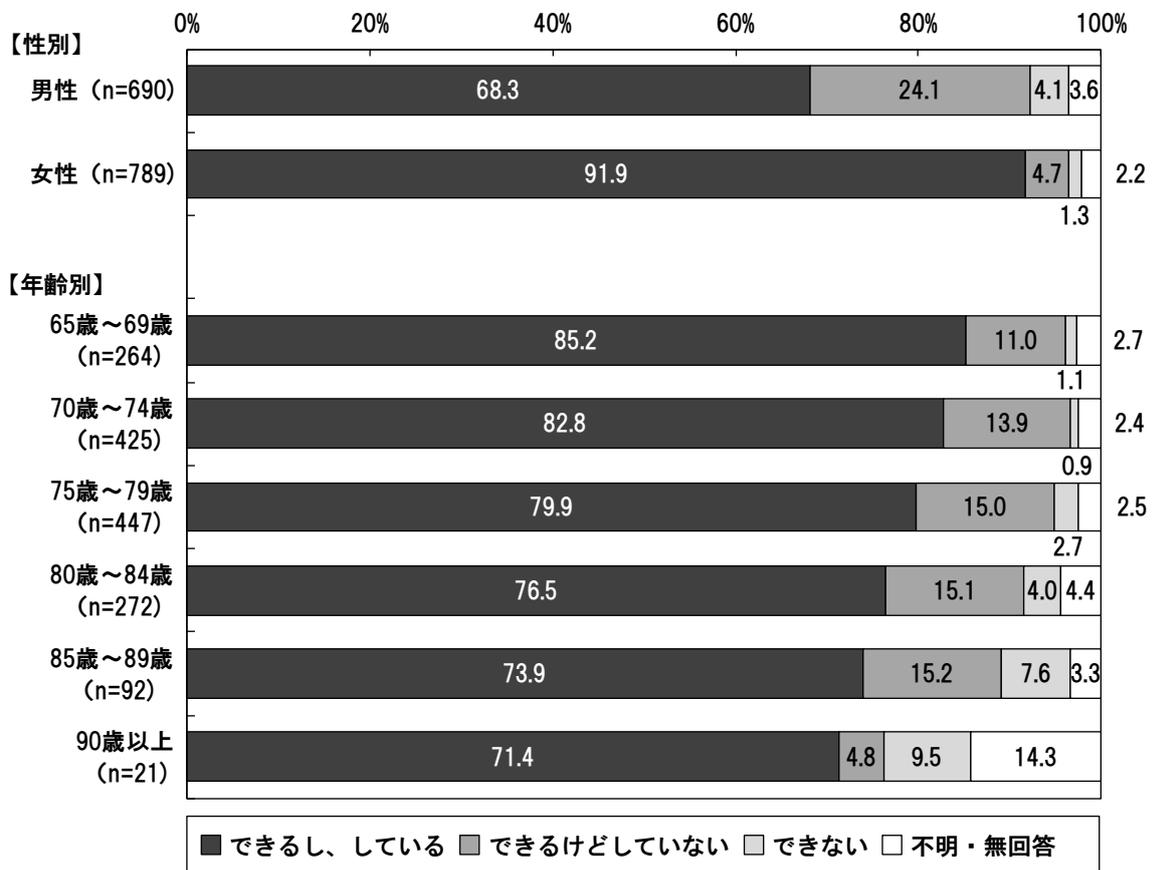
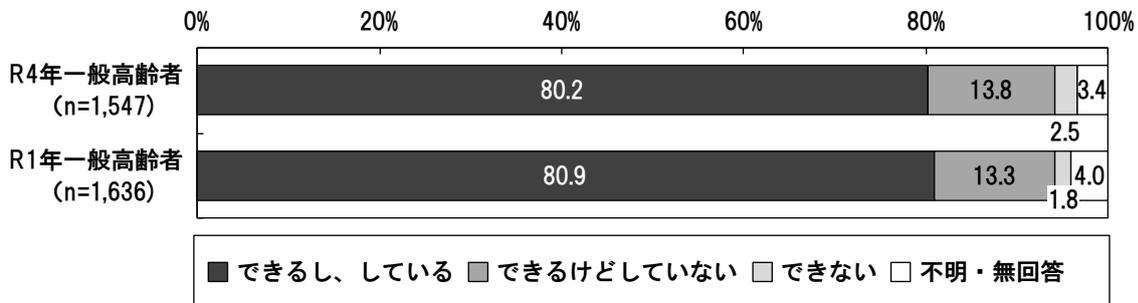
(1) 自分で食事の用意をしていますか

- ◆男性の生活力の低さは一つの課題となっています。
- ◆食品・日用品の買い物も同様に、男性では「できるけどしていない」が多くなっています。



(2) 自分で請求書の支払いをしていますか

◆請求書の支払い、預貯金の出し入れについても、同様の男女差があります。



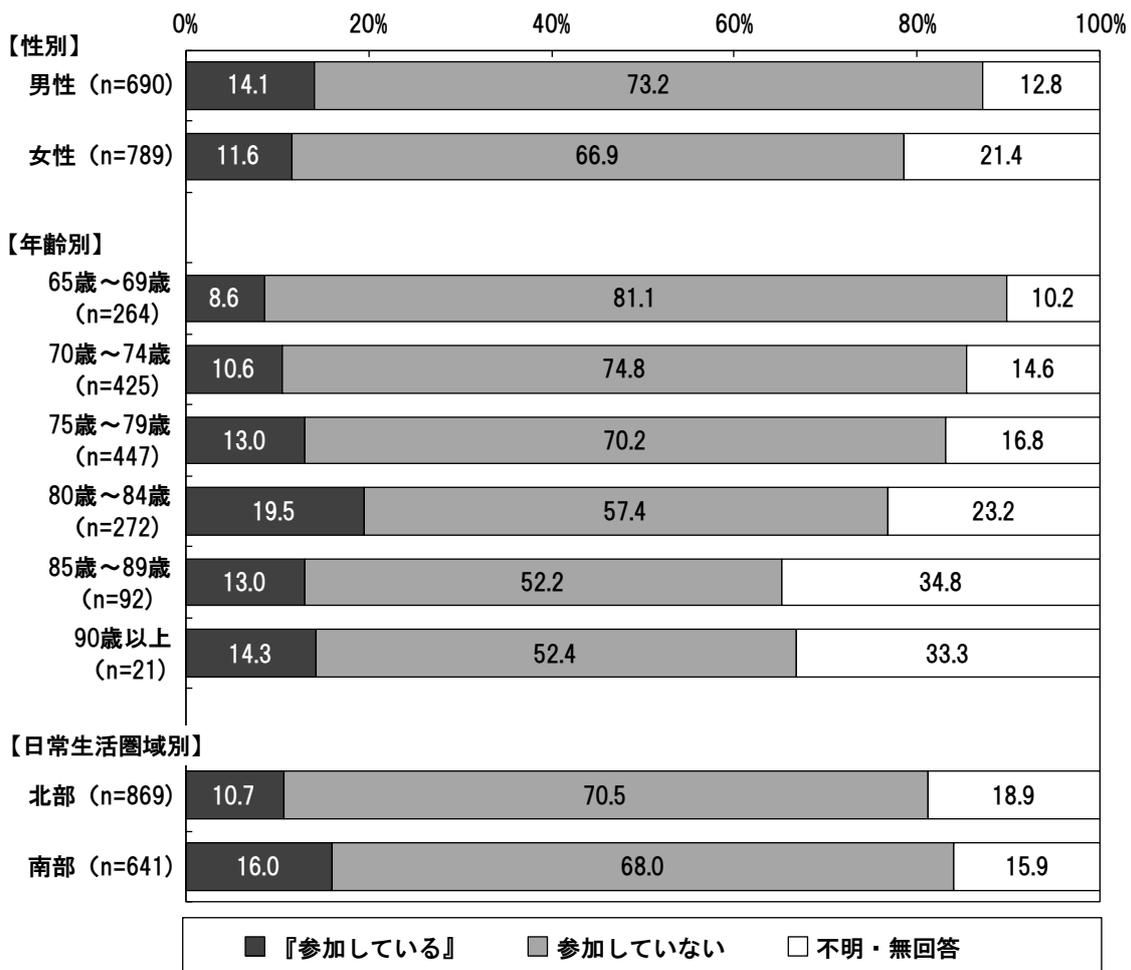
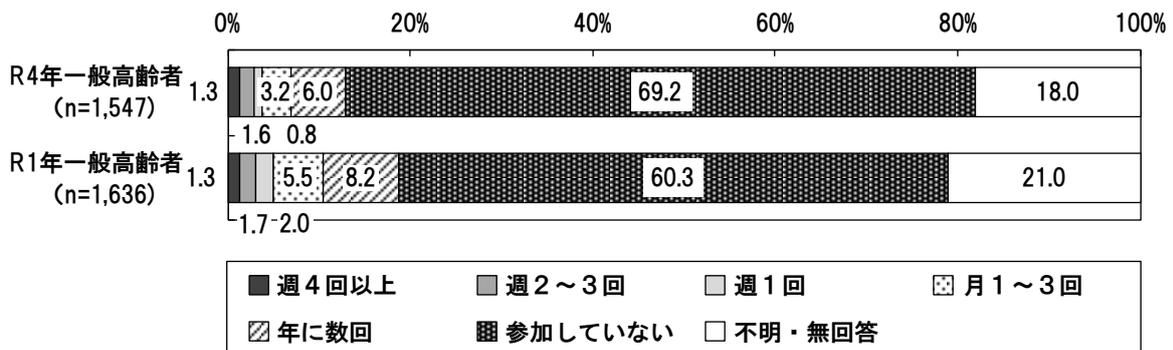
4. 地域での活動について

(1) 地域団体への参加の頻度

①老人クラブ

◆前回調査より参加率が下がっています。

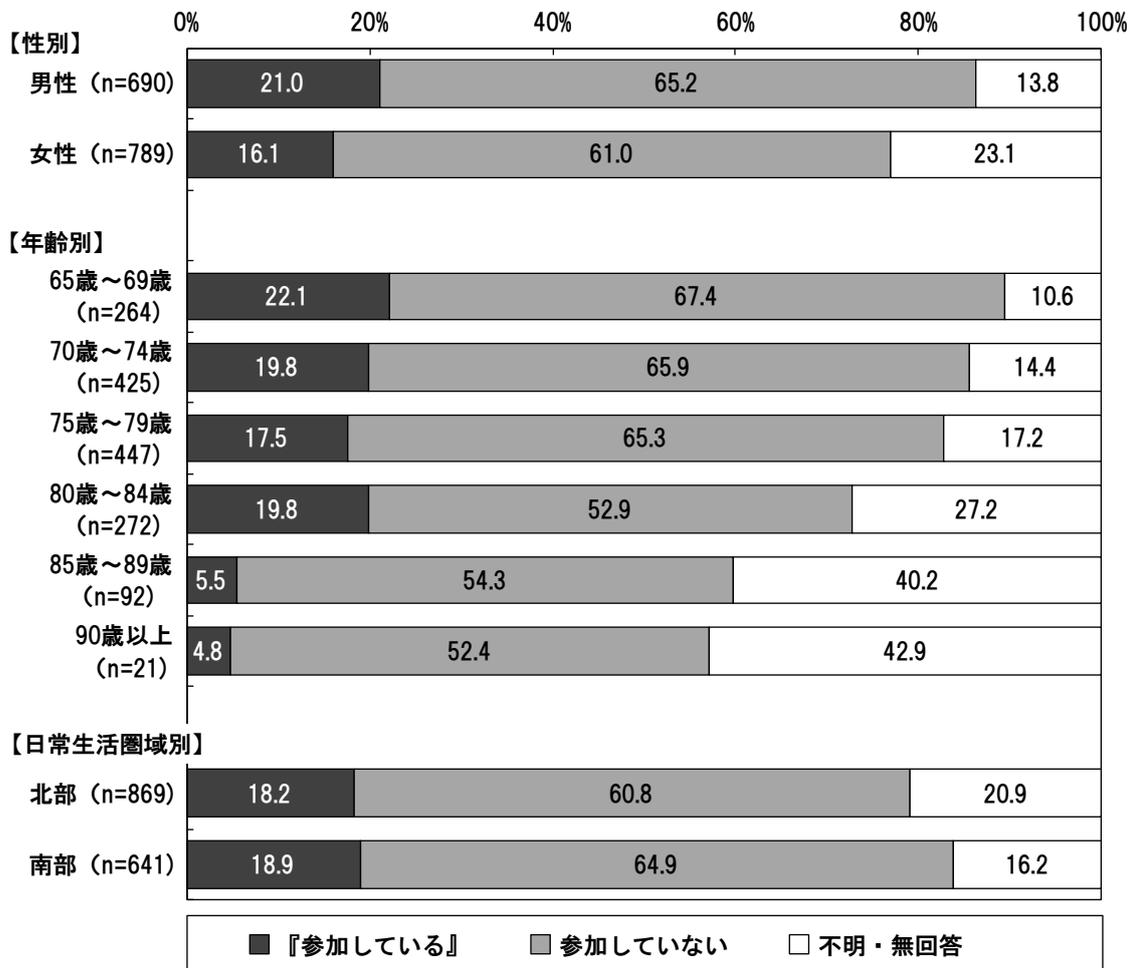
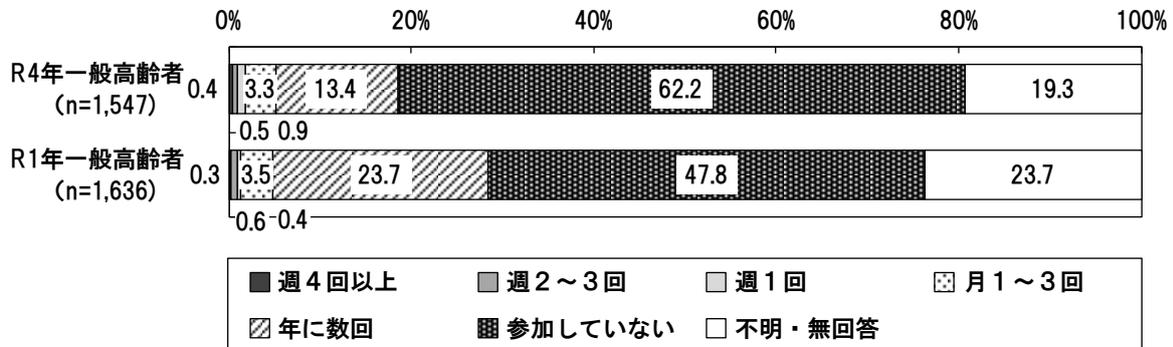
◆80歳代、90歳代より65～74歳の参加率が低くなっています。



②区・自治会

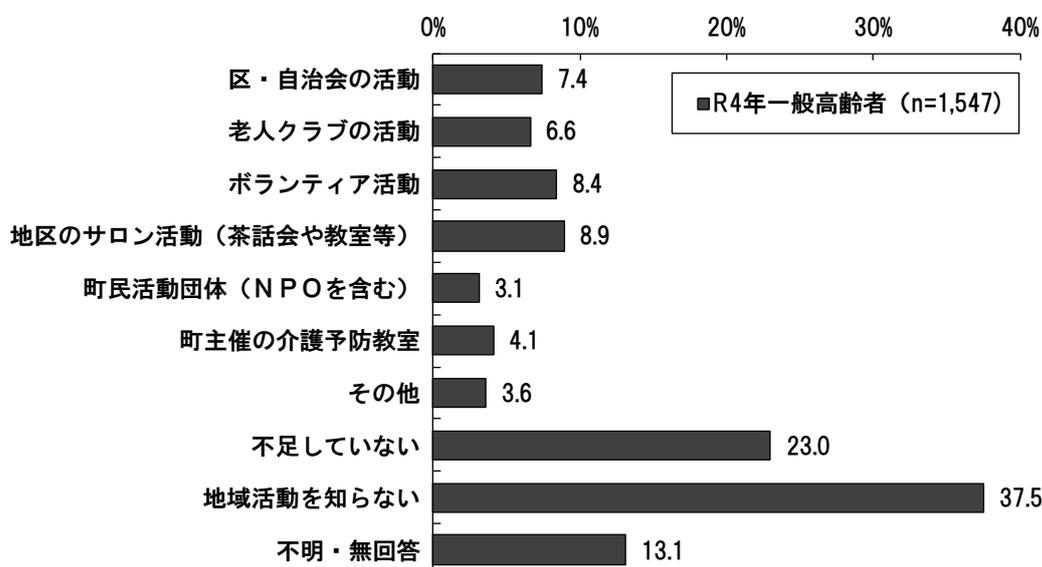
◆前回調査より参加率が下がっています。

◆85歳の前後で参加率が大幅に異なっています。



(2) あなたの住む地域には、どのような地域活動が不足していると思いますか。

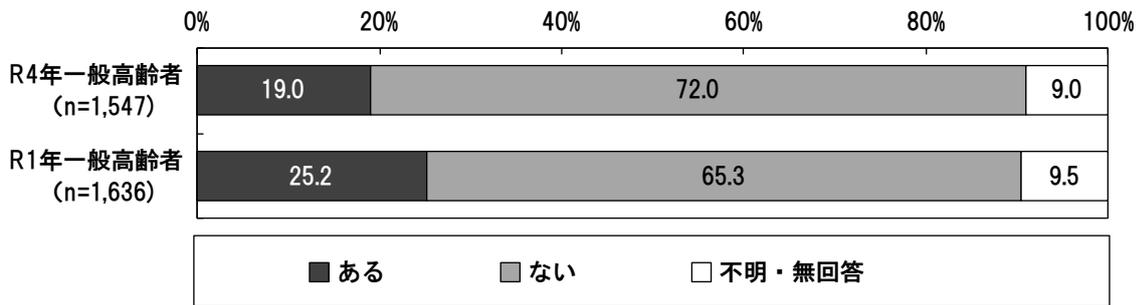
◆より若い世代の高齢者ほど、地域活動に関心を持っていない（地域活動を知らない、または不足していないと回答）傾向が見られます。



(単位：%)	n=	区・自治会の活動	老人クラブの活動	ボランティア活動	地区のサロン活動（茶話会や教室等）	町民活動団体（NPOを含む）	町主催の介護予防教室	その他	不足していない	地域活動を知らない	不明・無回答
		年齢別									
65歳～69歳	264	5.3	1.9	12.1	6.8	2.7	1.5	2.7	21.6	50.0	8.7
70歳～74歳	425	8.0	4.5	8.0	12.0	3.5	4.2	5.6	22.6	39.5	9.9
75歳～79歳	447	7.6	8.3	8.9	6.0	2.0	4.5	2.5	24.2	34.9	14.1
80歳～84歳	272	8.8	8.8	6.6	9.2	5.1	5.5	2.2	25.4	27.9	18.4
85歳～89歳	92	4.3	7.6	4.3	13.0	2.2	5.4	6.5	19.6	32.6	17.4
90歳以上	21	9.5	23.8	0.0	4.8	0.0	4.8	4.8	14.3	42.9	14.3
日常生活圏域別											
北部	869	8.3	6.0	8.4	9.4	3.8	4.1	3.6	22.1	36.6	13.5
南部	641	6.1	6.9	8.6	8.0	2.2	4.1	3.6	24.8	38.1	12.5

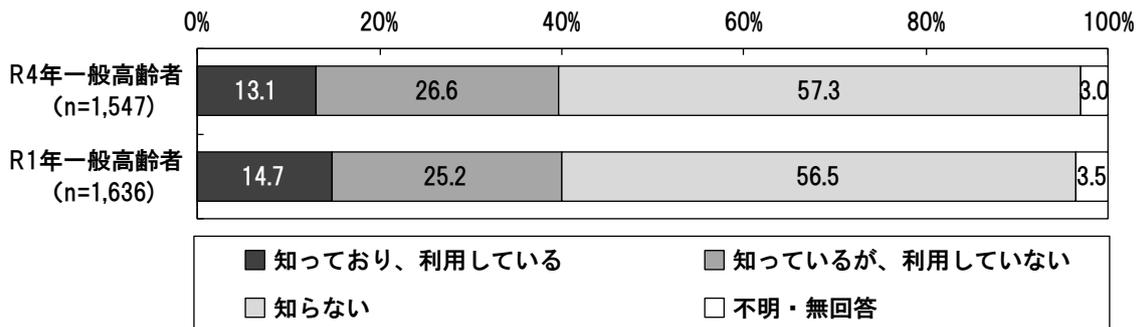
(3) あなたの趣味や特技を活かせる場が地域活動の中にありますか

◆「ある」という回答が減少しています。



(4) 社会参加ポイント制度を知っていますか。

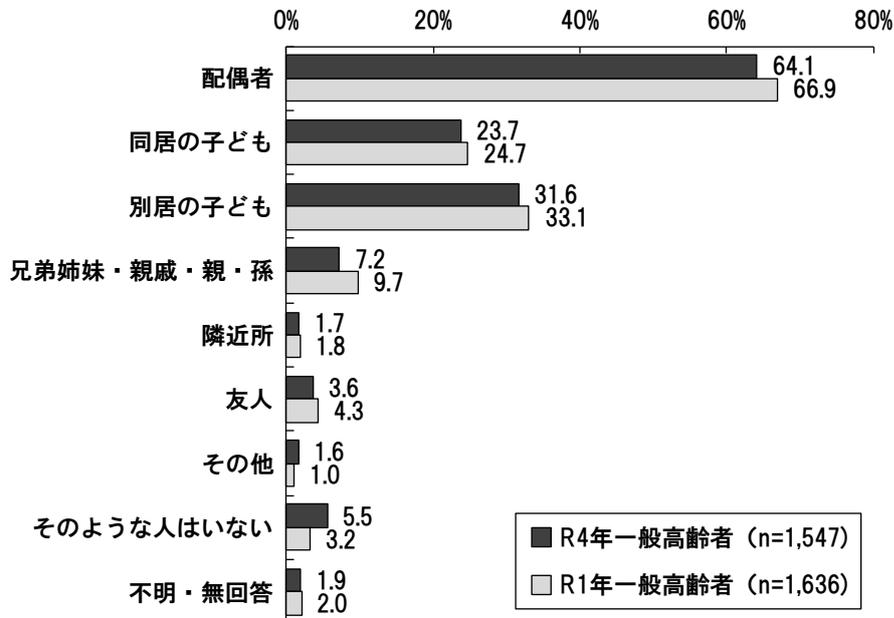
◆「知っており、利用している」はわずかに減少しています。



5. 助け合いについて

(1) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。

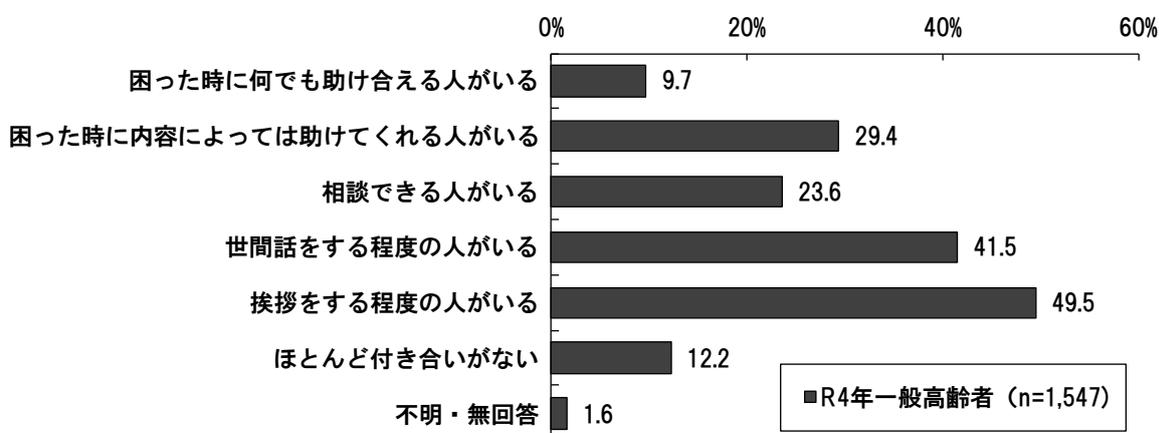
◆ 1人暮らしの高齢者で、支援を受けられる関係にやや乏しい傾向があります。



(単位：%)	n=	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・孫 兄弟姉妹・親戚・	隣近所	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
性別										
男性	690	80.0	17.7	20.9	5.1	0.3	1.2	1.3	4.6	0.7
女性	789	50.1	29.4	41.2	9.0	3.0	6.0	1.8	6.3	2.4
年齢別										
65歳～69歳	264	72.7	18.6	20.8	9.1	0.8	4.2	1.9	5.7	1.1
70歳～74歳	425	71.8	22.6	31.1	6.8	0.5	2.4	1.4	5.6	0.7
75歳～79歳	447	64.2	23.3	34.5	6.5	2.9	4.9	1.3	6.7	2.0
80歳～84歳	272	54.8	27.2	38.2	7.0	2.2	3.7	1.5	3.3	2.9
85歳～89歳	92	39.1	32.6	33.7	5.4	3.3	2.2	3.3	7.6	2.2
90歳以上	21	33.3	42.9	28.6	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家族構成別										
1人暮らし	237	0.0	0.8	61.2	14.8	5.5	11.8	4.6	20.3	2.5
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	678	90.3	2.7	32.6	4.1	0.9	2.5	0.3	2.5	1.3
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	79	93.7	10.1	11.4	1.3	1.3	1.3	0.0	5.1	0.0
息子・娘との2世帯	310	55.5	72.3	17.4	7.1	1.3	1.9	1.0	2.3	1.9
その他	199	54.8	48.7	23.1	10.6	1.0	1.5	4.0	4.5	2.0

(2) 地域の人との付き合いは、どのようですか。

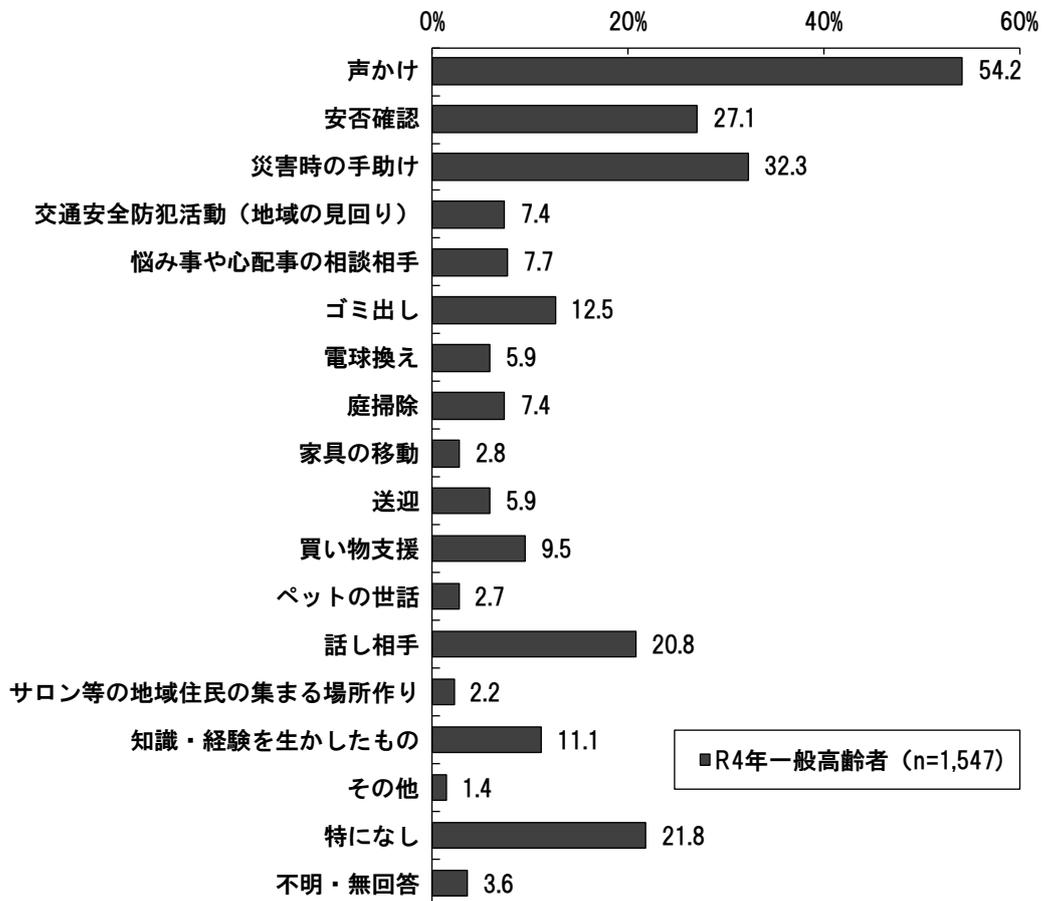
◆地域のつきあいは性別・年齢・地区によっても異なっています。



(単位：%)	n=	困った時に何でも助け合える人がいる	困った時に内容によっては助けてくれる人がいる	相談できる人がいる	世間話をする程度の人がある	挨拶をする程度の人がある	ほとんど付き合いがない	不明・無回答
性別								
男性	690	5.5	22.8	16.5	35.9	51.2	14.8	1.2
女性	789	13.3	35.2	29.7	46.4	49.0	10.6	1.5
年齢別								
65歳～69歳	264	7.2	24.6	17.4	32.6	56.8	16.3	1.5
70歳～74歳	425	5.6	30.4	24.2	43.1	52.5	15.3	0.7
75歳～79歳	447	12.3	31.5	26.8	44.3	48.1	8.1	1.6
80歳～84歳	272	14.7	30.1	26.5	43.8	48.9	8.5	1.8
85歳～89歳	92	7.6	26.1	16.3	42.4	35.9	17.4	2.2
90歳以上	21	4.8	19.0	14.3	28.6	33.3	23.8	0.0
居住地区別								
諸輪	151	16.6	25.8	25.2	39.1	38.4	13.2	2.0
和合	94	9.6	28.7	23.4	42.6	55.3	10.6	2.1
傍示本	100	13.0	35.0	31.0	58.0	45.0	4.0	1.0
祐福寺	97	9.3	33.0	19.6	48.5	41.2	14.4	1.0
部田	51	5.9	49.0	33.3	54.9	52.9	2.0	2.0
白土	153	11.1	22.9	19.0	37.3	48.4	19.0	0.0
和合ヶ丘	129	10.1	33.3	27.1	45.0	46.5	8.5	0.0
諸輪住宅	14	0.0	7.1	28.6	21.4	42.9	7.1	7.1
白鳥	146	10.3	28.1	21.9	37.7	48.6	15.8	2.1
御岳	119	8.4	26.9	21.0	42.9	52.9	11.8	0.8
春木台	114	4.4	21.1	18.4	31.6	57.9	14.9	0.9
北山台	105	6.7	29.5	22.9	40.0	61.9	12.4	1.0
押草団地北	54	11.1	27.8	29.6	48.1	61.1	13.0	3.7
押草団地南	57	7.0	40.4	26.3	38.6	49.1	10.5	0.0
西白土	34	14.7	41.2	35.3	44.1	44.1	5.9	0.0
清水	38	5.3	26.3	18.4	39.5	52.6	10.5	5.3
兵庫	23	4.3	17.4	21.7	30.4	39.1	21.7	0.0
三ツ池	31	6.5	35.5	16.1	32.3	61.3	12.9	3.2

(3) あなた自身が地域の人に対して手助けや協力できることは何ですか。

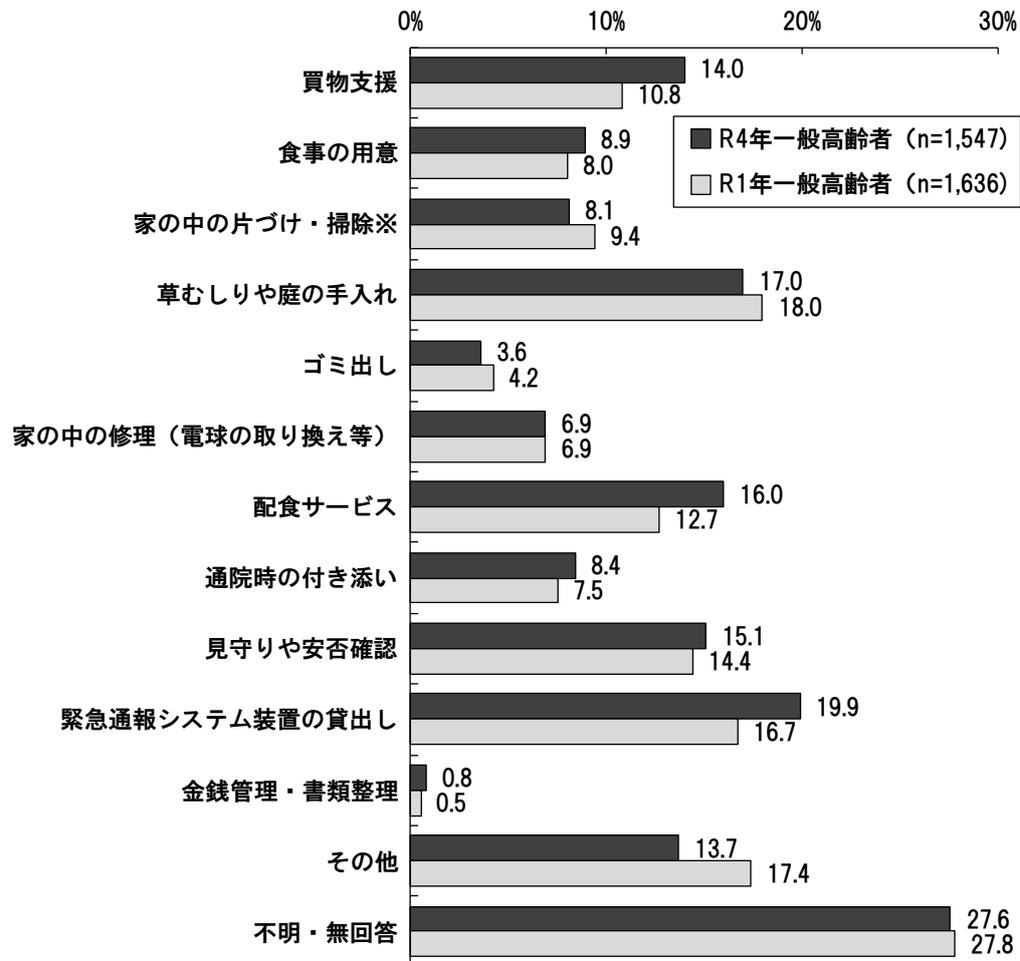
◆声かけや災害時の手助けについて、回答が多くなっています。



6. 支援制度等について

(1) あなたが日常生活で使っている（使いたい）支援（サービス）はどれですか

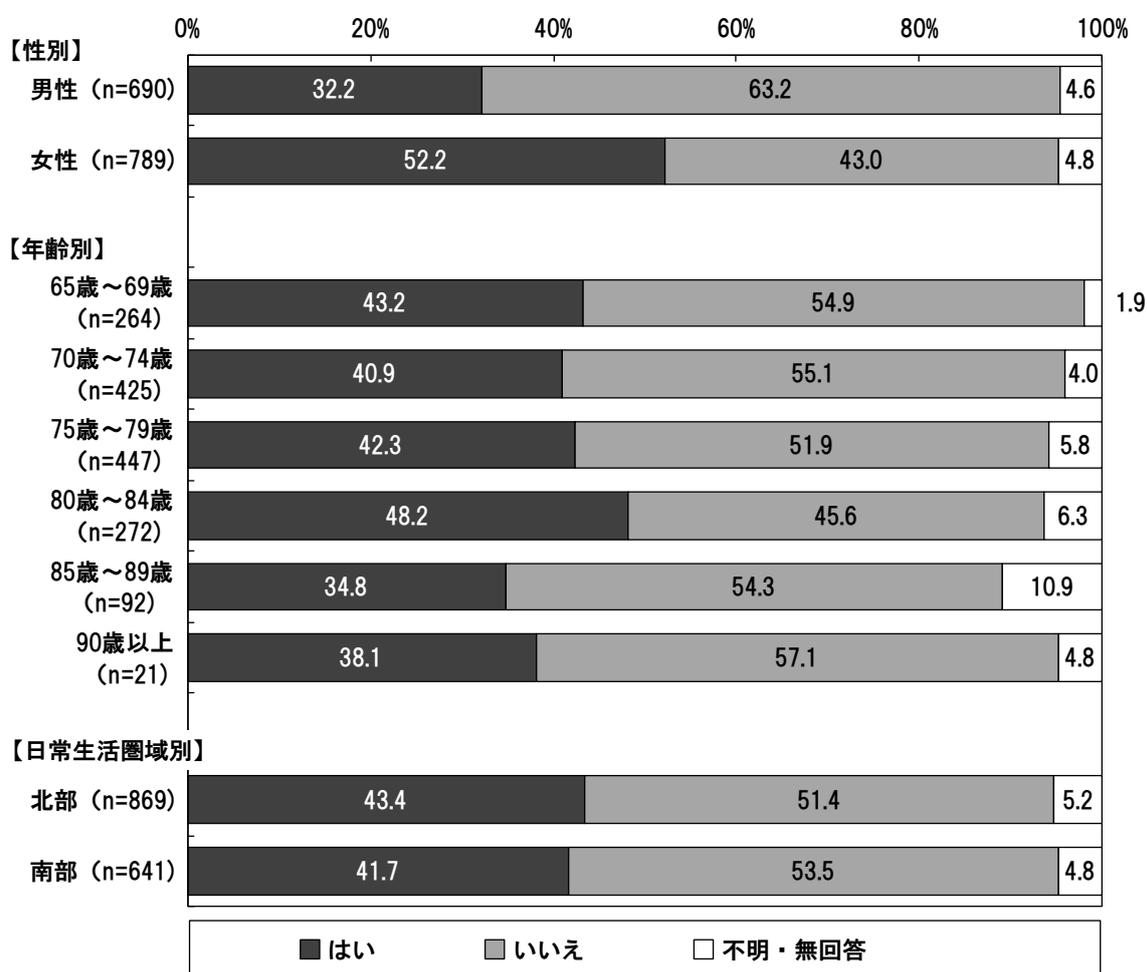
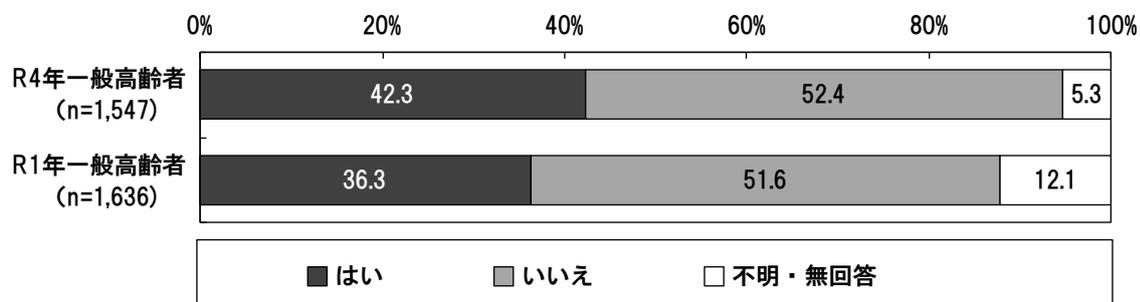
- ◆「緊急通報システム装置の貸出し」「草むしりや庭の手入れ」等が多くなっています。
- ◆「買物支援」「配食サービス」がやや増加しています。



(2) あなたは、地域包括支援センターを知っていますか。

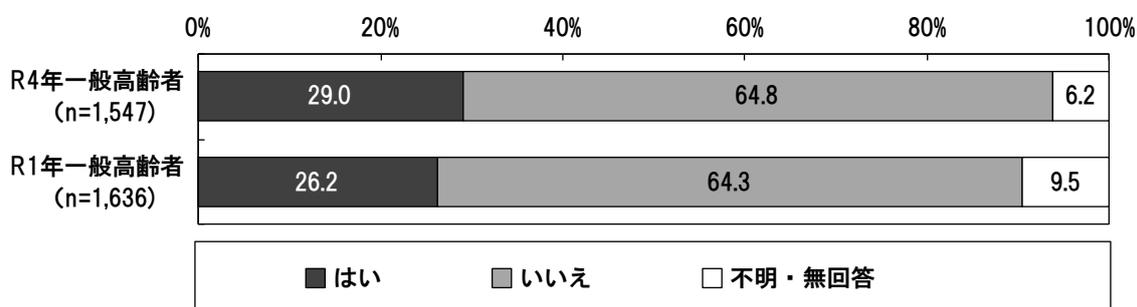
◆地域包括支援センターの認知度は上がっています。

◆男性より女性の認知度が高くなっています。



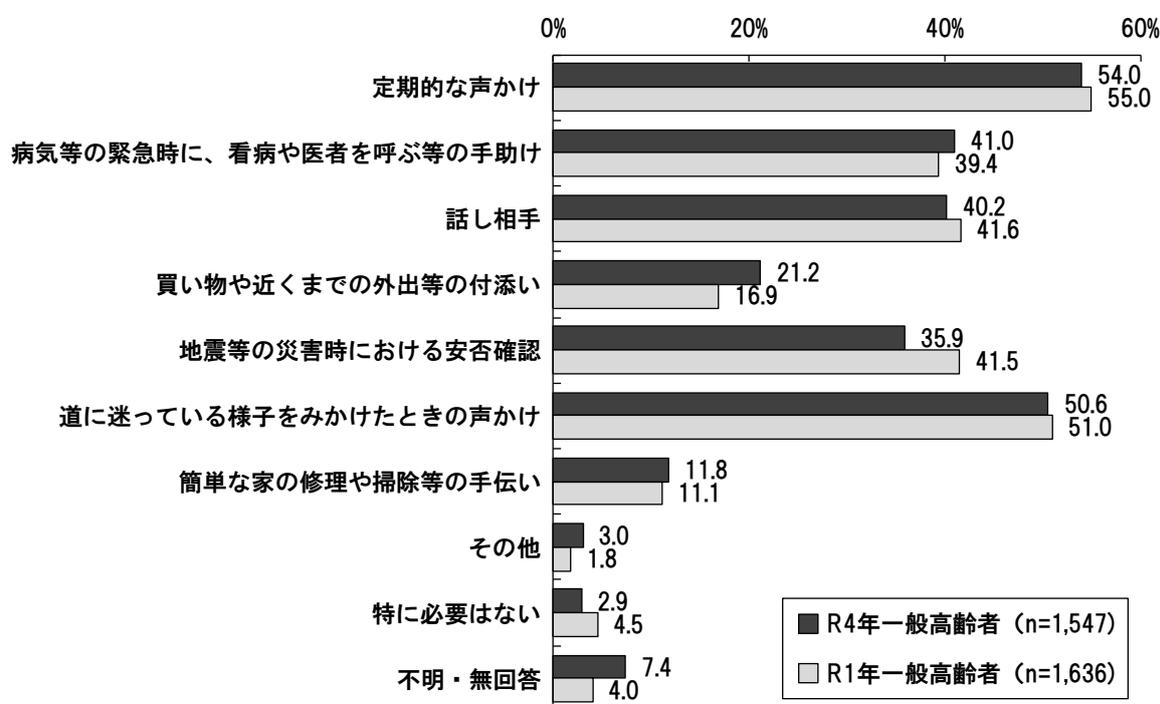
(3) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

◆認知度はわずかに上がっていますが、地域包括支援センターと比べると低くなっています。



(4) あなたは認知症の人が住み慣れた地域で暮らしていくためには、どのような地域住民の協力があるとよいと思いますか。

◆「定期的な声かけ」や「道に迷っている様子をみかけたときの声かけ」が多くなっています。前回調査と比べると「地震等の災害時における安否確認」がやや減少し、「買い物や近くまでの外出等の付き添い」がやや増加しています。



7. 要介護リスクについて

(1) 閉じこもりリスク

◆閉じこもりリスクのある人が増加しています（関連する設問の前回比較から）。

◆北部より南部でリスクのある人の割合が高くなっています。

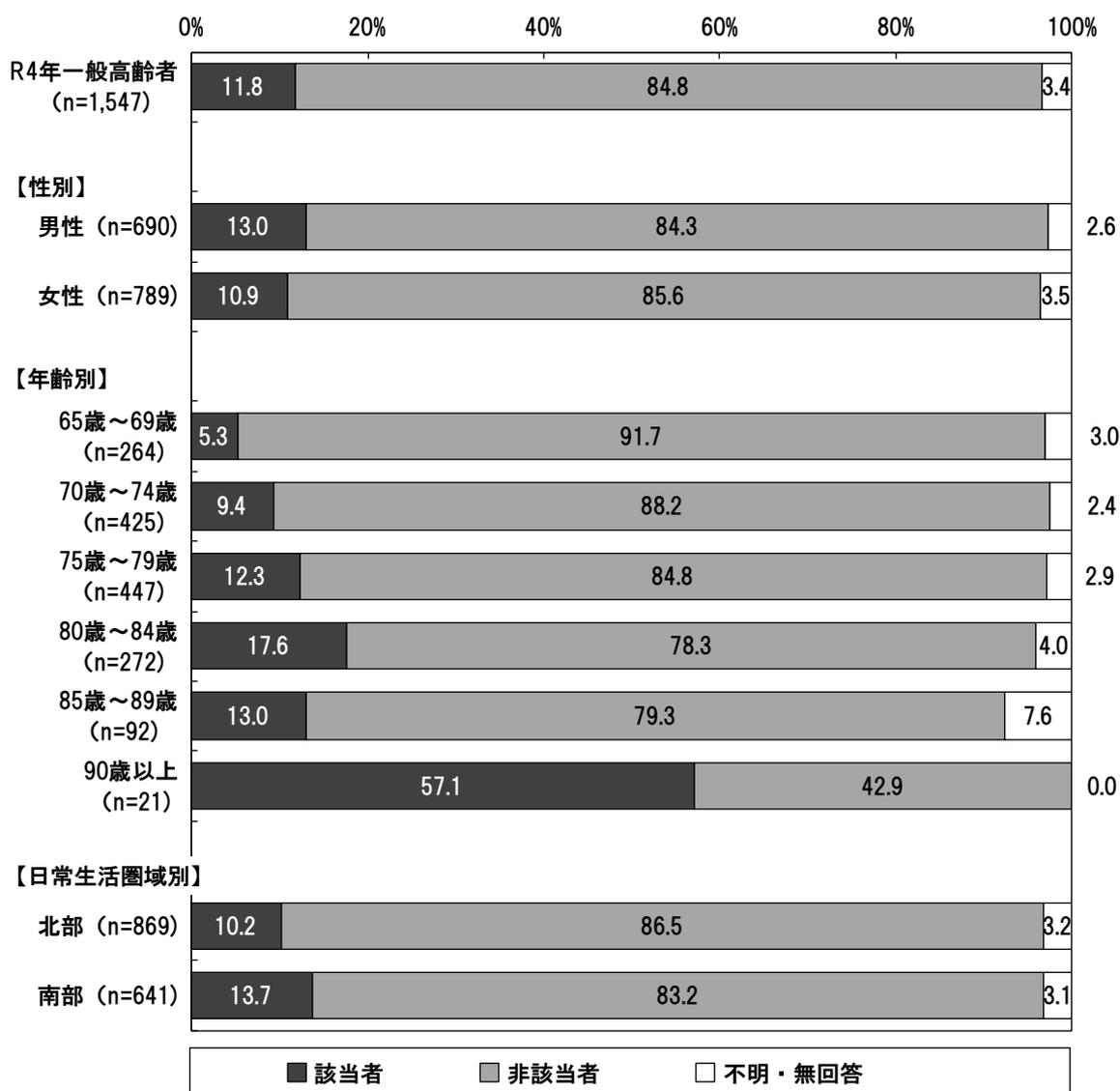
■評価方法

以下の設問で該当する選択肢（「ほとんど外出しない」または「週1回」）が回答された場合、該当者（閉じこもり傾向のある高齢者）とした。

■評価に使用した調査設問結果【一般高齢者（n=1,547）】

単位：%

設問番号	設問	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	不明・無回答
14	週にどの程度外出していますか。	4.0	7.8	41.8	43.0	3.4



(2) IADL (手段的日常生活動作) の低下

◆女性より男性でIADLの低下が目立つ結果となっています。

■評価方法

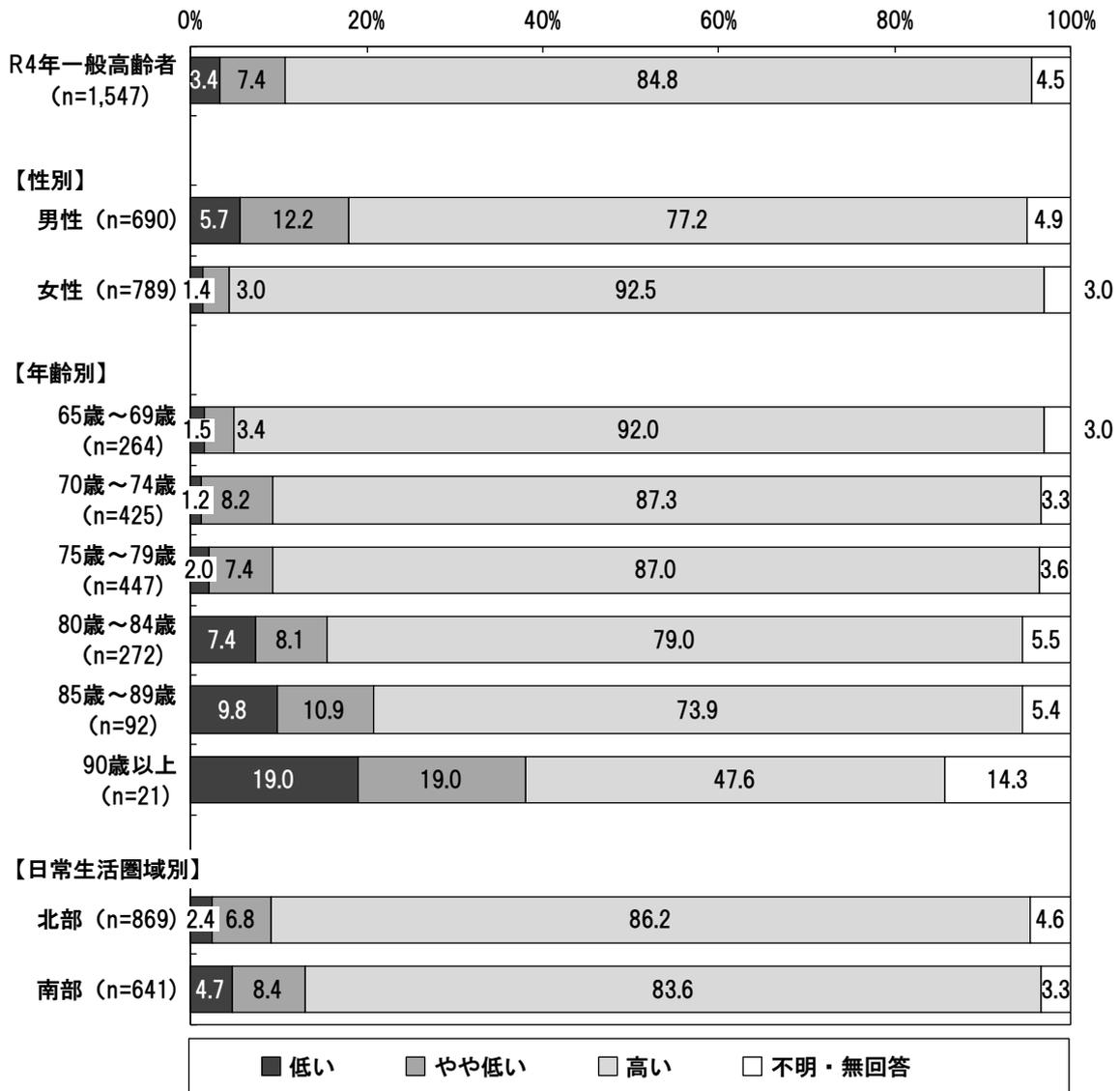
以下の5つの設問について、「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した方を1点とし、5点満点で評価した。5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」として評価した。

■評価に使用した調査設問結果【一般高齢者 (n=1,547)】

単位：%

設問番号	設問	できるし、している	できるけどしていない	できない	不明・無回答
26	バスや電車を使って一人で外出していますか(自家用車でも可)。	68.9	23.5	3.7	3.9
27	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	80.7	13.8	2.1	3.4
28	自分で食事の用意をしていますか。	69.0	19.7	7.5	3.7
29	自分で請求書の支払いをしていますか。	80.2	13.8	2.5	3.4
30	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	81.8	12.2	2.7	3.3

※IADLとは、日常生活を送る上で必要な動作のうち、ADL(日常生活動作：食事、排せつ、入浴などの基本的な行動)より複雑で高次の動作のことを言います。(例：買い物や洗濯・掃除などの家事全般、金銭や服薬の管理、外出時に乗り物に乗ることなど)

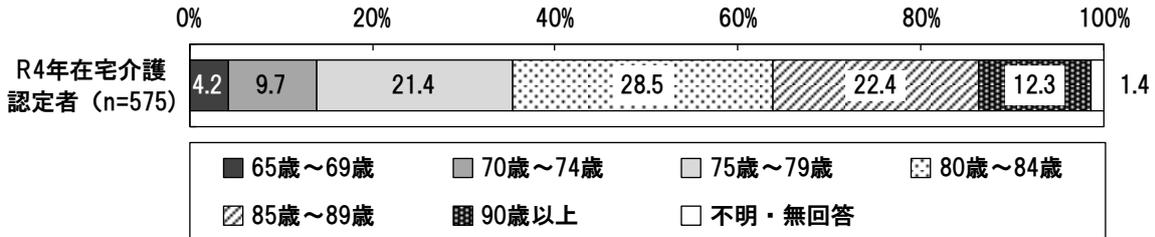


Ⅲ 在宅介護実態調査の結果

1. 回答者について

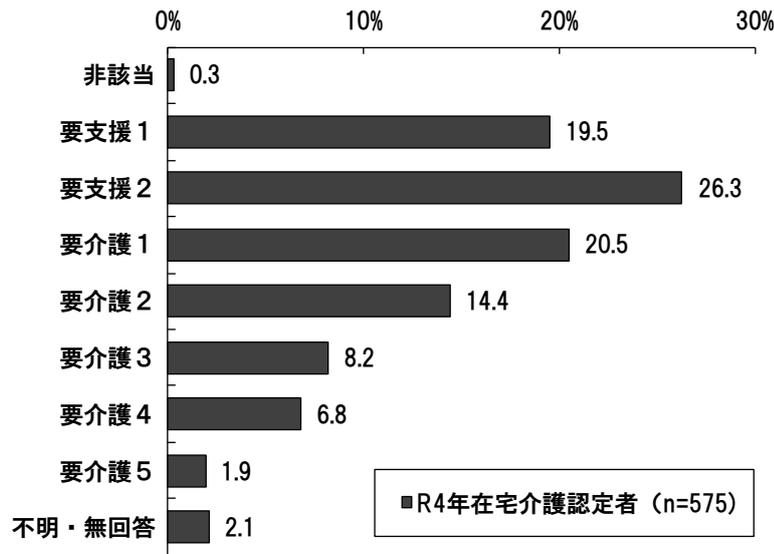
(1) 年齢

◆80歳代前半が最も多くなっています。



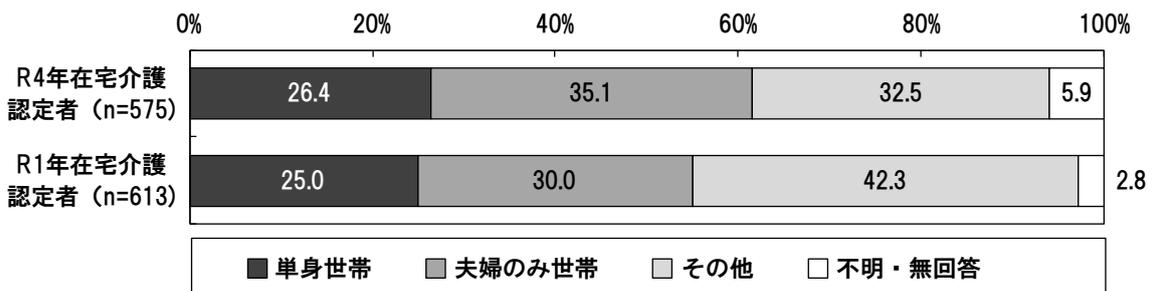
(2) 要介護度

◆要支援2が最も多く、次いで要介護1が多くなっています。



(3) 世帯類型

◆「その他」が減少し、高齢者のみの世帯が増えています。

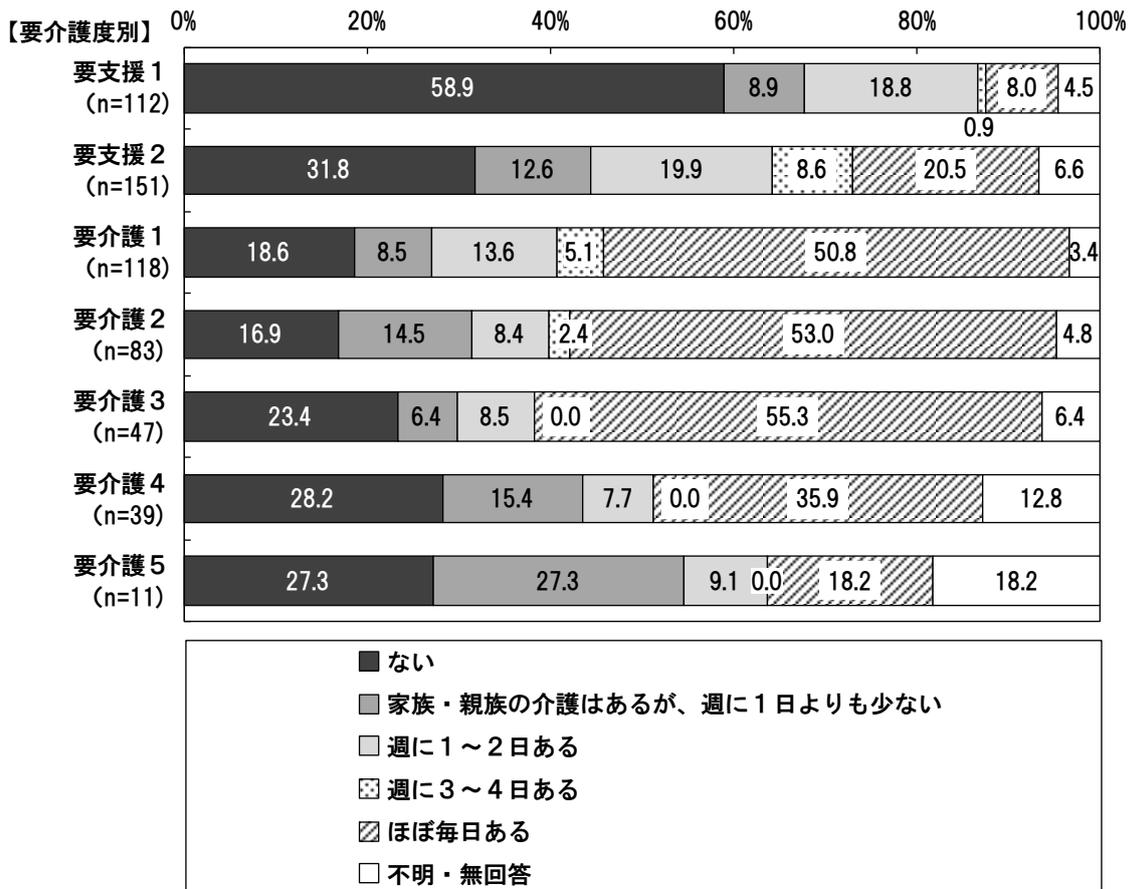
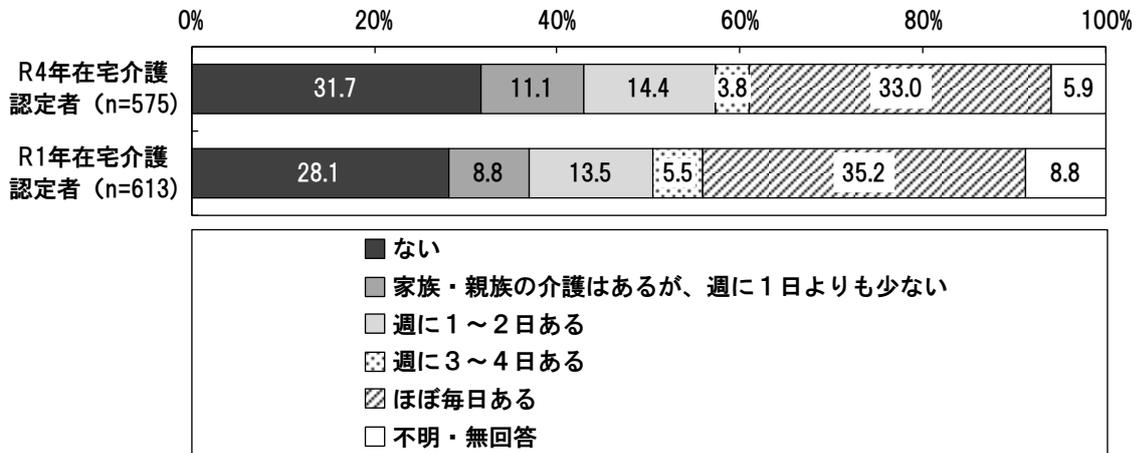


2. 在宅介護の状況について

(1) ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。

◆「ない」と「ほぼ毎日ある」に2極化している傾向です。

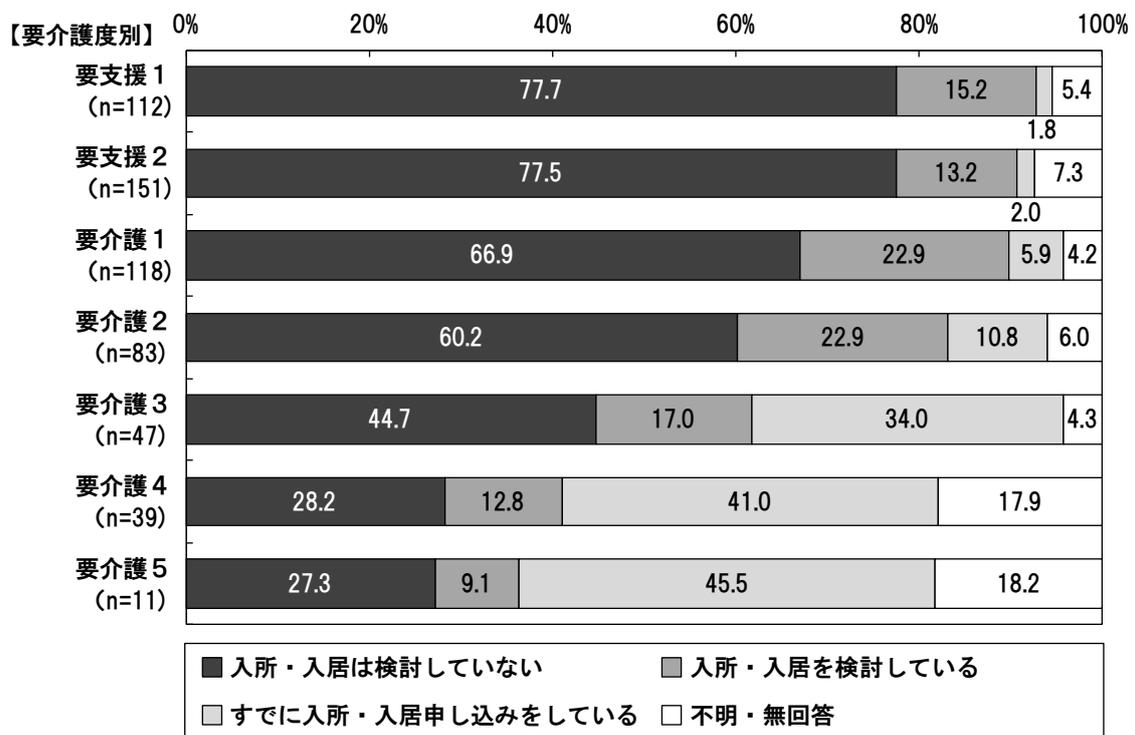
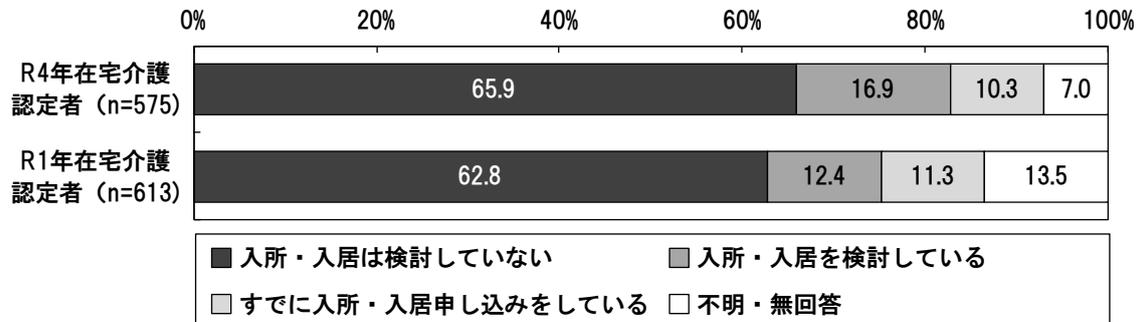
◆要介護度が3以上でも「ない」という人2割を超えています。



(2) 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。

◆「入所・入居を検討している」は16.9%、「すでに申し込みをしている」が10.3%となっています。

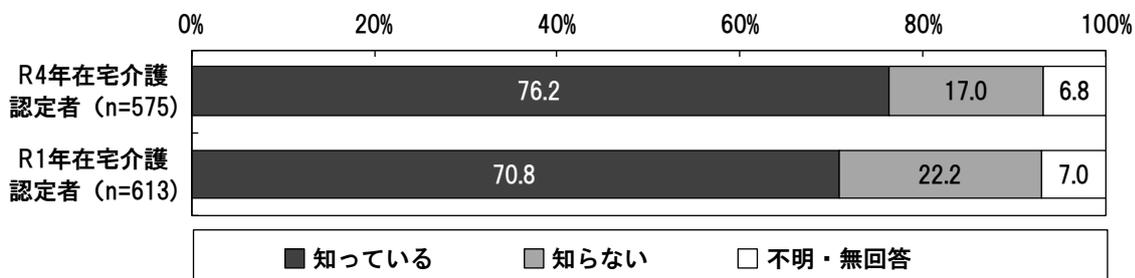
◆要介護度が上がるほど「入所・入居を検討していない」が減少しています。



3. 地域包括支援センターについて

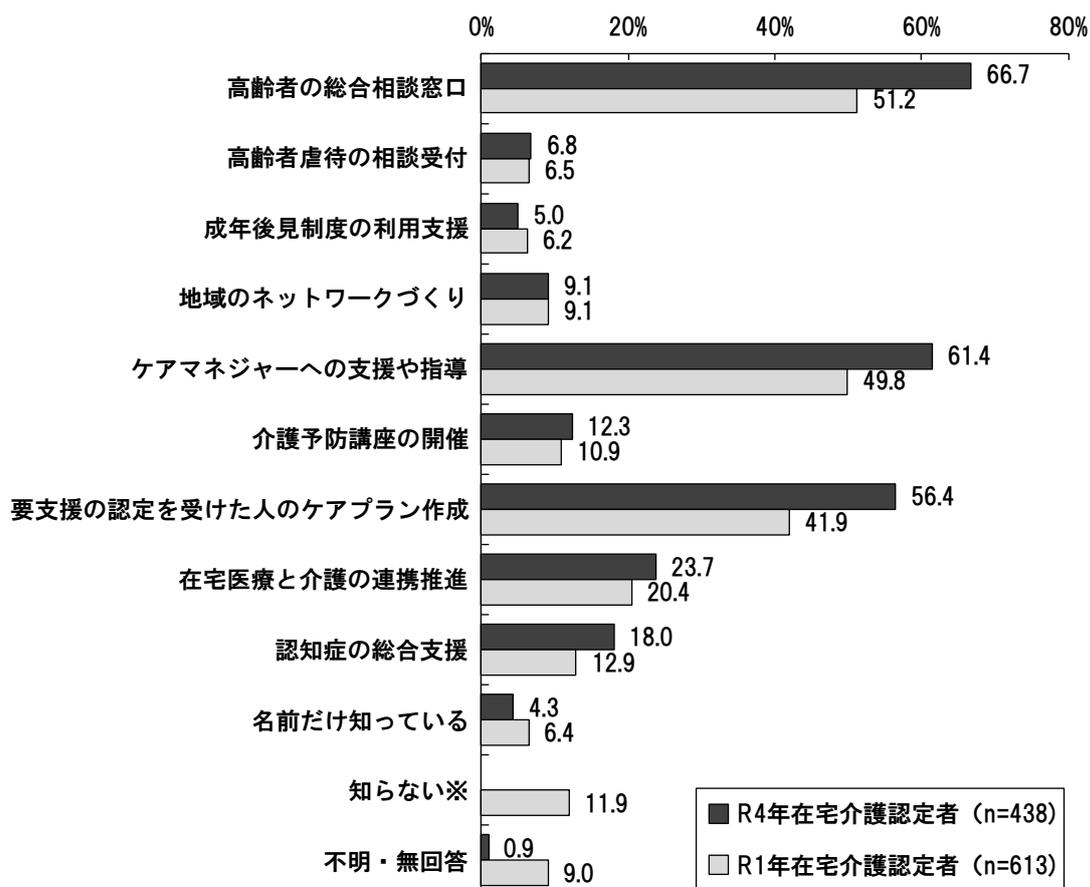
(1) あなたは、地域包括支援センターを知っていますか。

◆地域包括支援センターの認知度が上がっています。



(2) 【地域包括支援センターを「知っている」と回答した人のみ】あなたが、地域包括支援センターの役割として知っているものはどれですか。

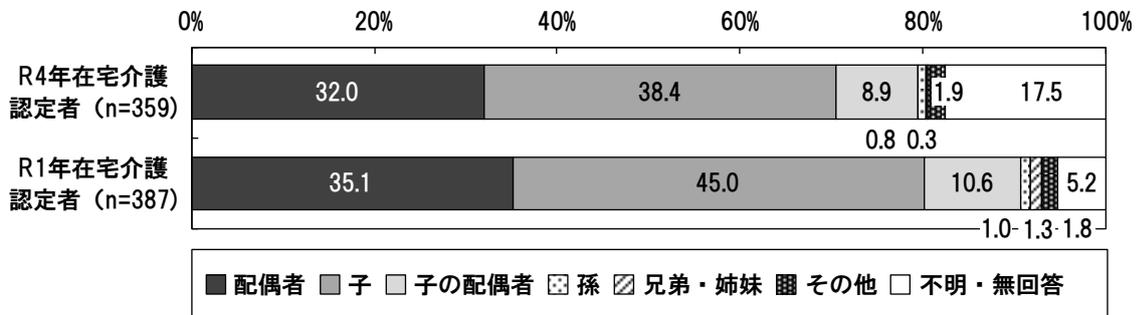
◆回答の多い項目で知っているという人が増加しています。



4. 主な介護者について

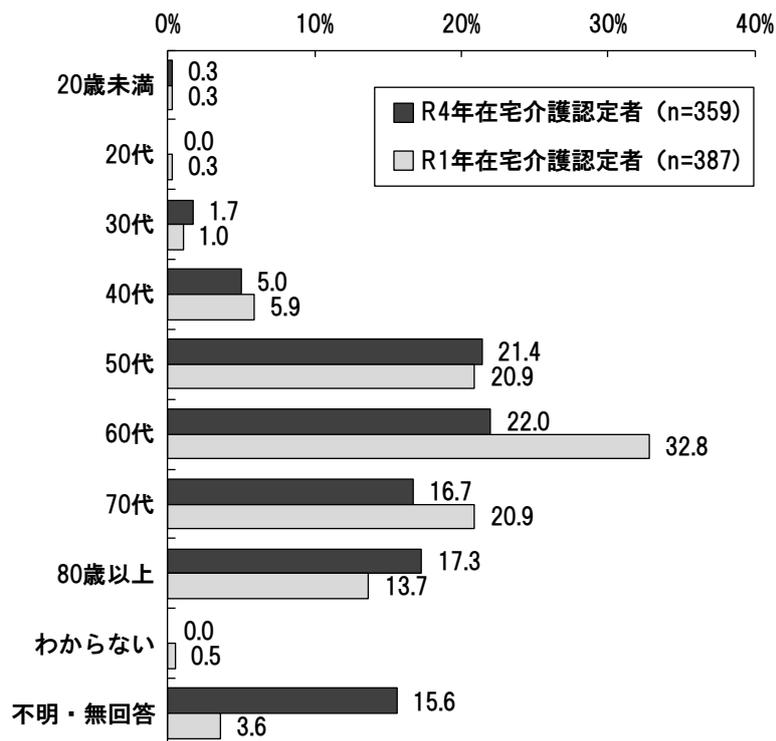
(1) 主な介護者の方は、どなたですか。

◆「子」と「配偶者」が多くなっています。



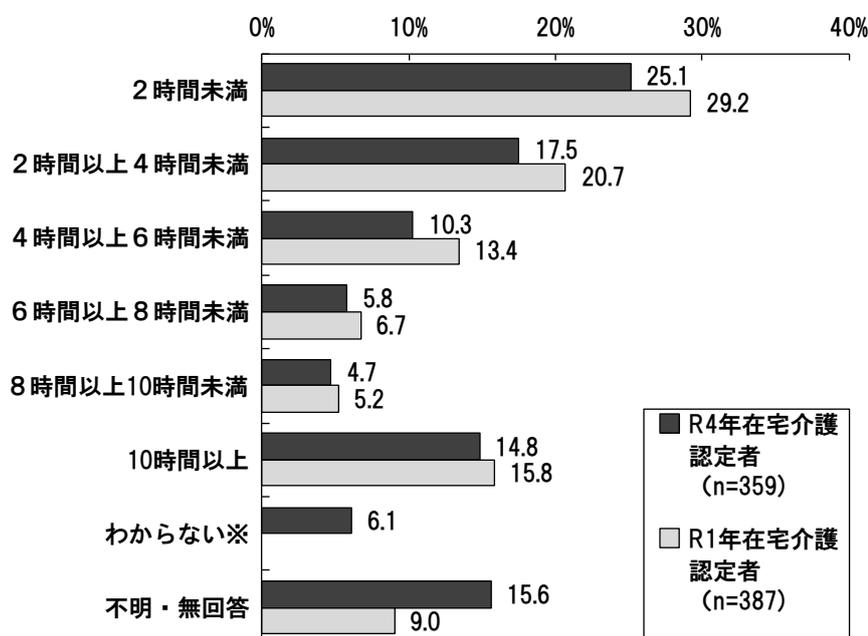
(2) 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。

◆34.0%が70歳以上となっています。



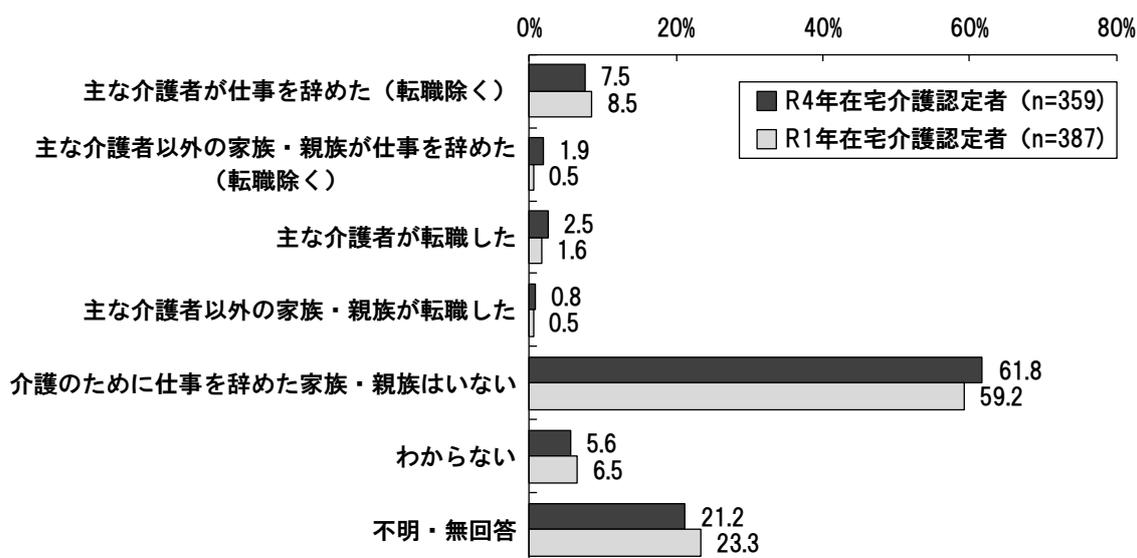
(3) 主な介護者の方の、一日の平均的な介護時間はどのくらいですか。(身体介護だけでなく、家事等の見守りも含めてお答えください)

◆約半数は6時間未満ですが、8時間以上という回答も2割近くあります。



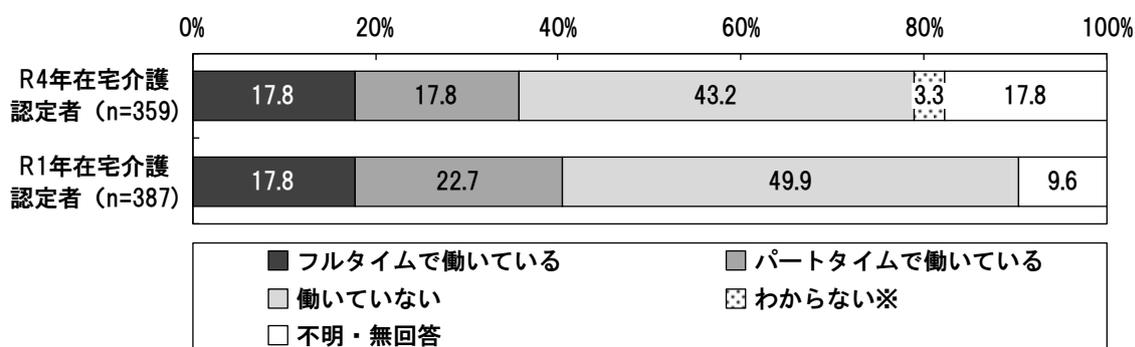
(4) ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。

◆主な介護者の介護離職は7.5%となっています。



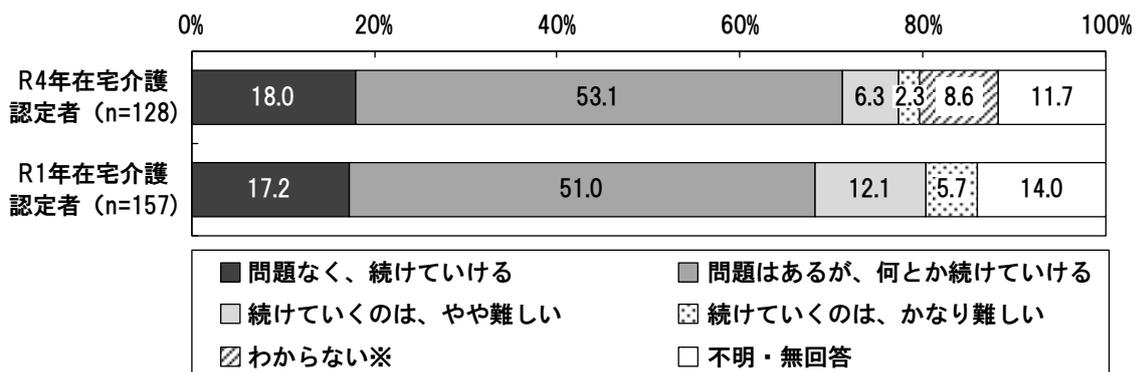
(4) 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。

◆就労している主な介護者は 35.6% となっています。



(5) 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

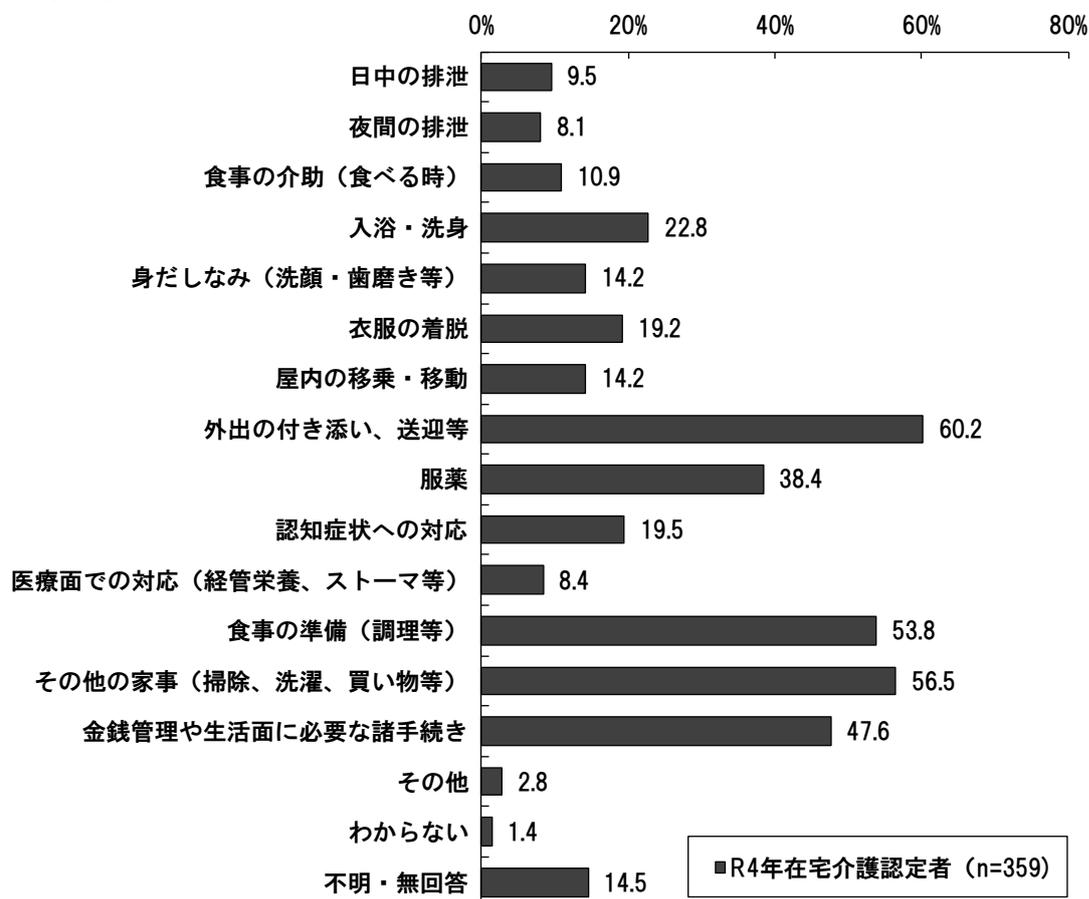
◆続けていくのが難しいという回答は、8.6%で、前回調査より減少しています。



5. 介護の負担について

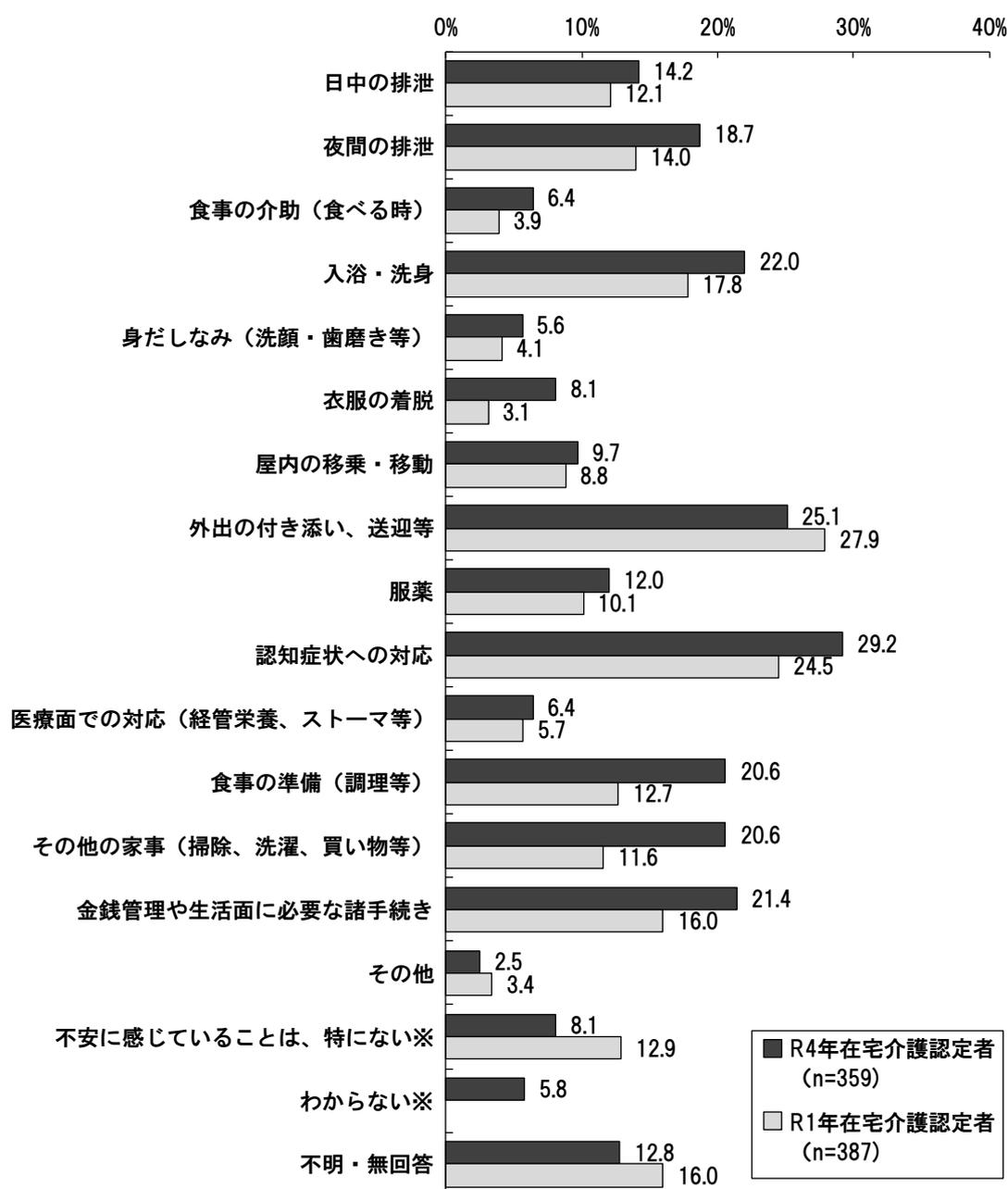
(1) 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。

◆「外出の付き添い、送迎等」や「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が多くなっています。



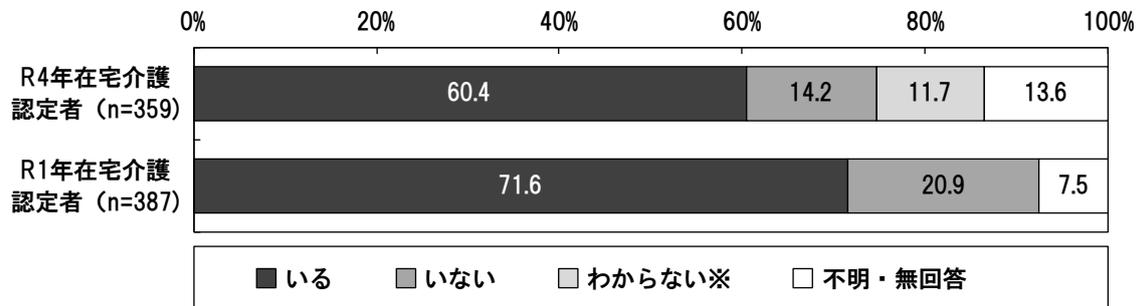
(2) 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください。

◆「認知症状への対応」、「外出の付き添い、送迎等」が多くなっています。



(3) 主な介護者の方には、介護の手助けや介護に関する悩みを相談できる人がいますか。

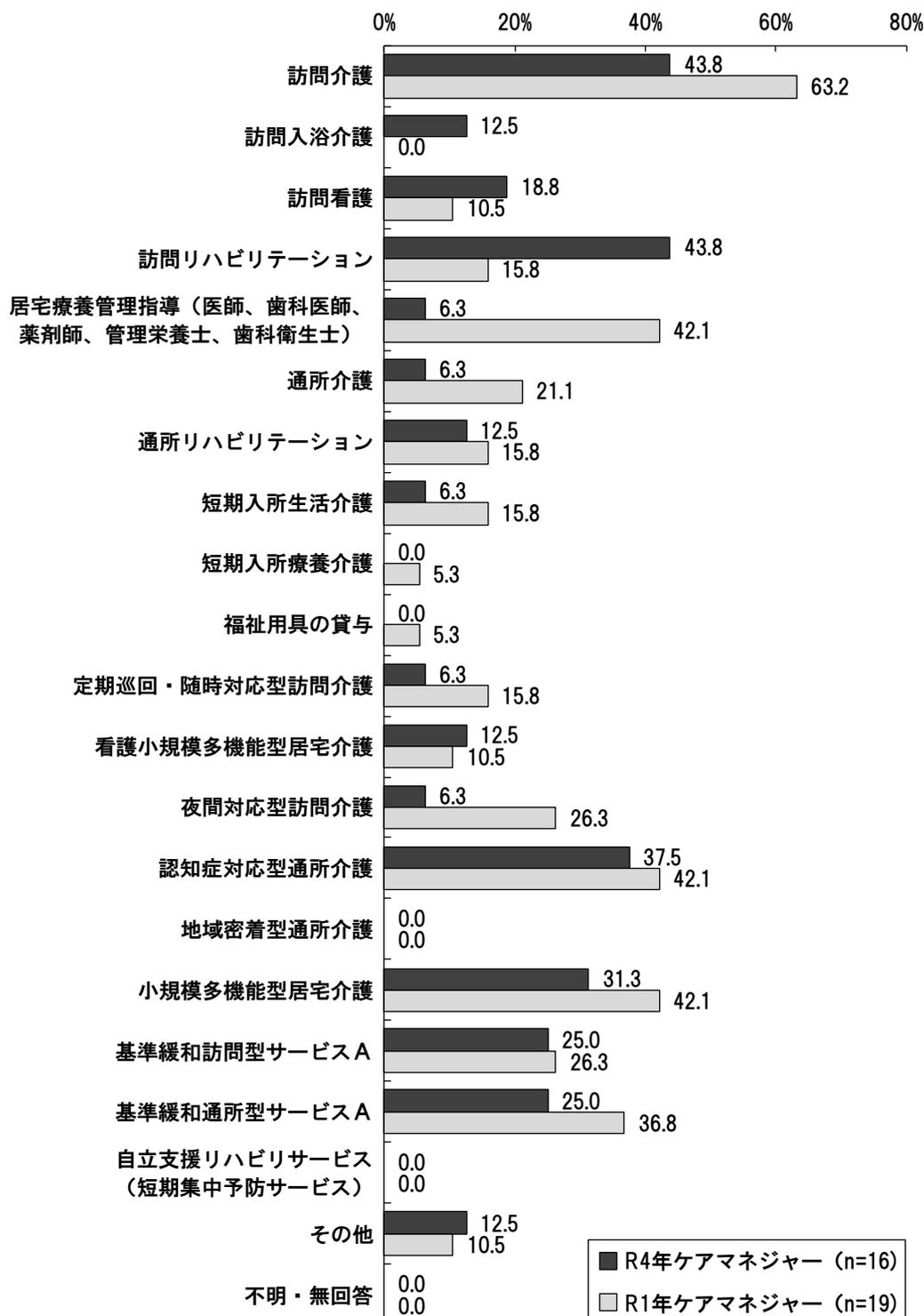
◆ 「いる」が前回調査より減少しています。



IV ケアマネジャー調査の結果

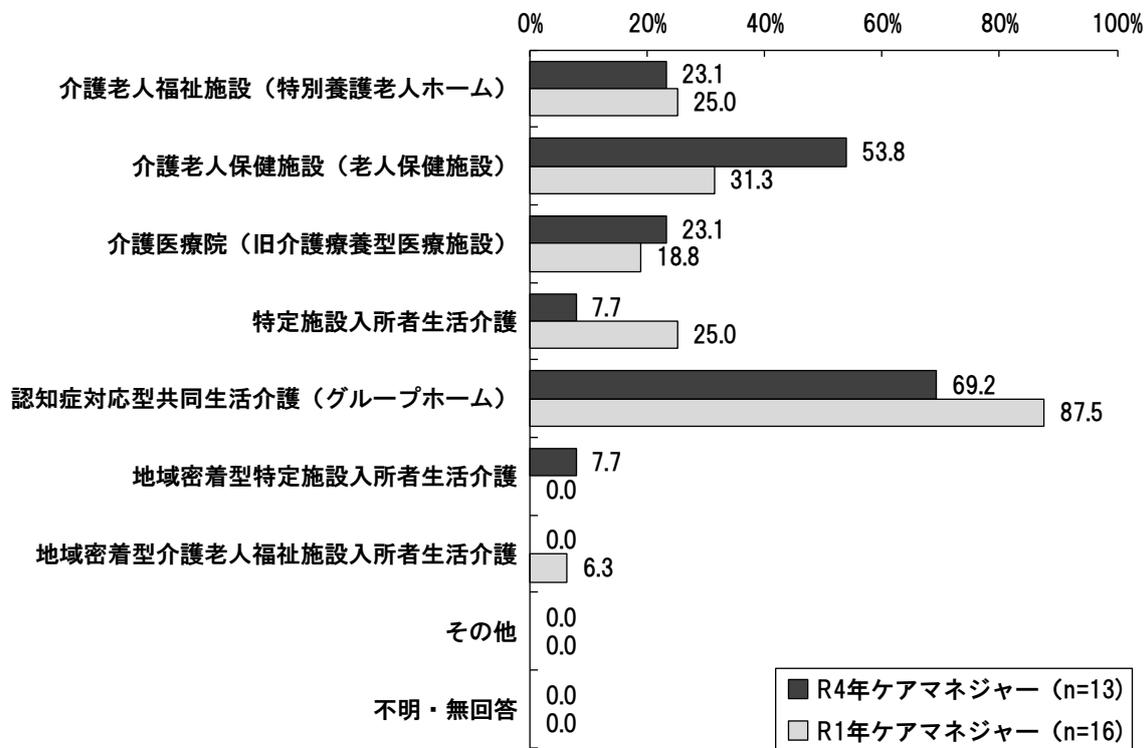
(1) 介護保険対象の居宅サービスの中で、供給が不足していると感じているサービスは何ですか。

◆「訪問介護」「訪問リハビリテーション」「認知症対応型通所介護」が多くなっています。



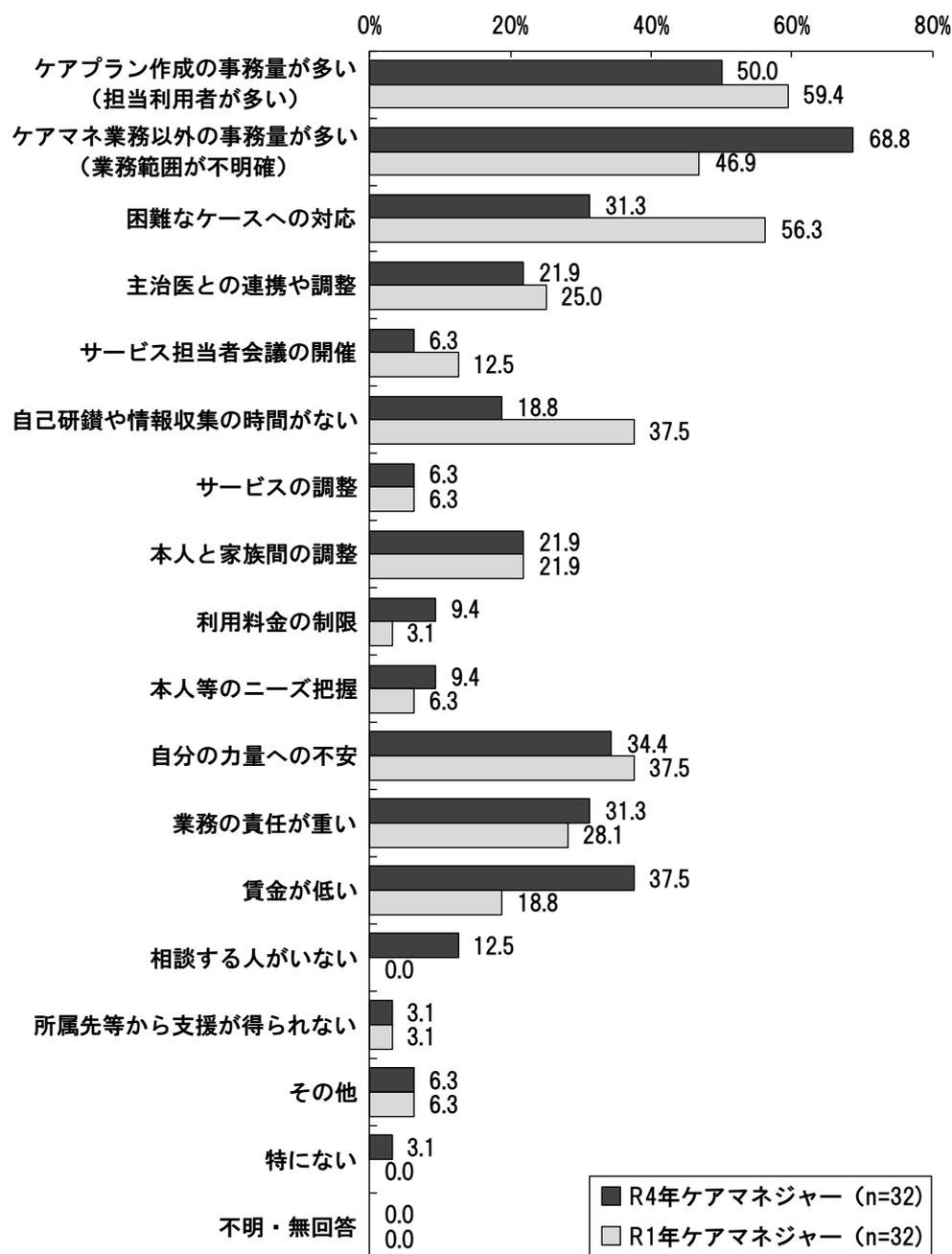
(2) 不足していると考えているのはどんな（施設）サービスですか。

◆「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」「介護老人保健施設（老人保健施設）」が多くなっています。



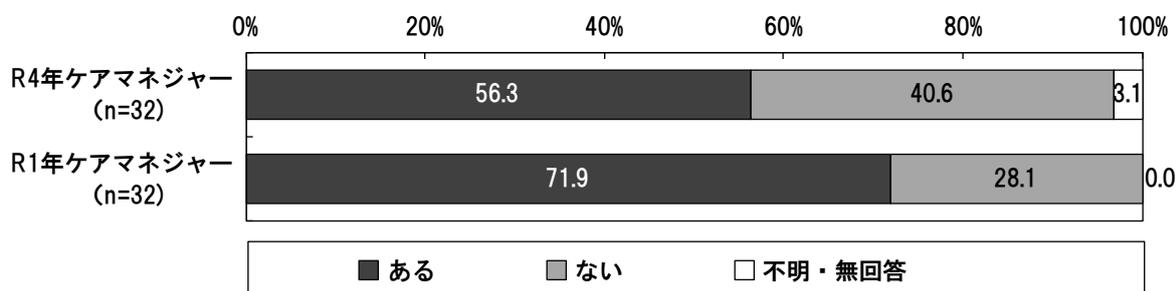
(3) あなたが、ケアマネジャーとして困っていることは何ですか。

◆「ケアマネ業務以外の事務量が多い（業務範囲が不明確）」「ケアプラン作成の事務量が多い（担当利用者が多い）」が多くなってます。



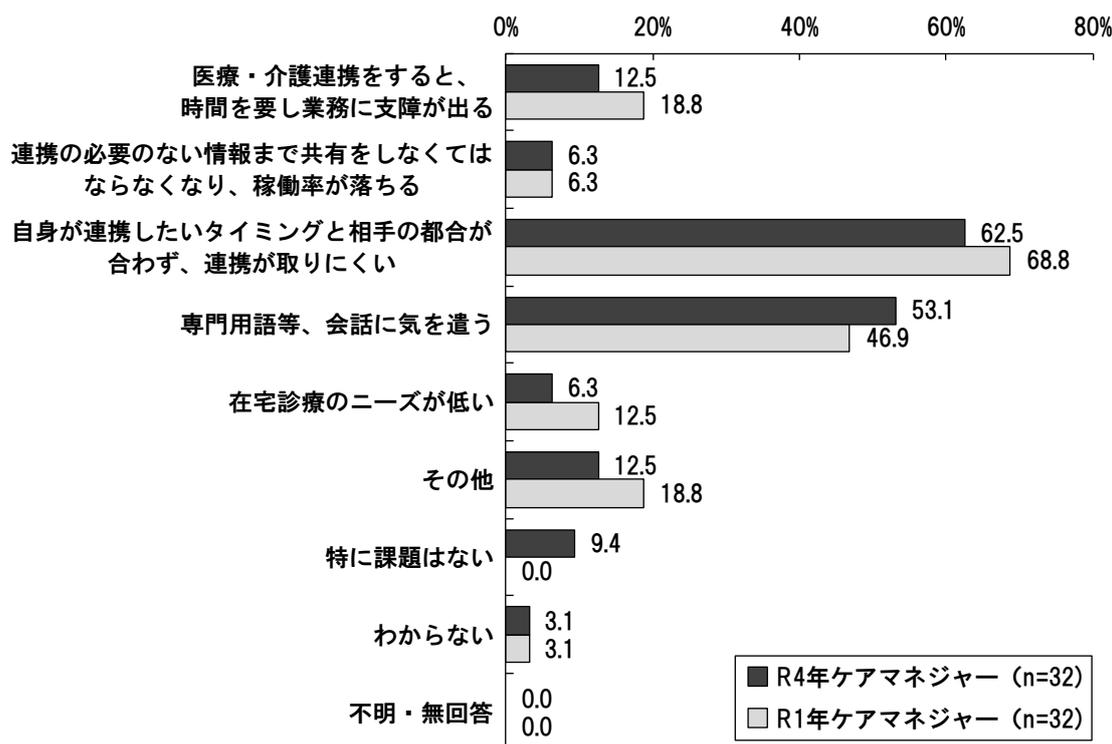
(4) 医療機関や医療従事者との連携について、苦勞していることはありますか。

◆「ある」が前回調査より減少しています。



(5) 医療・介護連携を行うに当たっての課題は何だと思いますか。

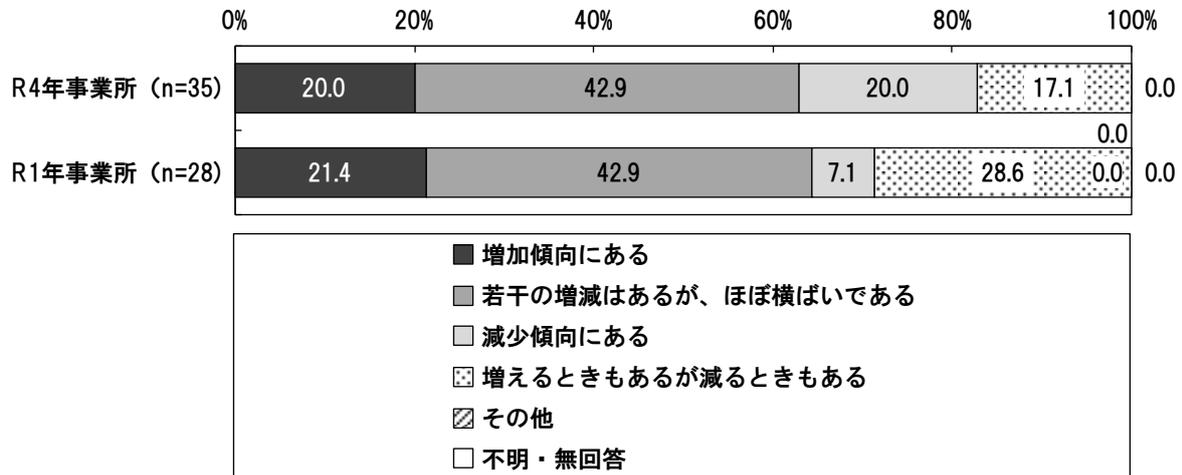
◆「自身が連携したいタイミングと相手の都合が合わず、連携が取りにくい」が62.5%と最も高く、次いで「専門用語等、会話に気を遣う」



V 事業所調査の結果

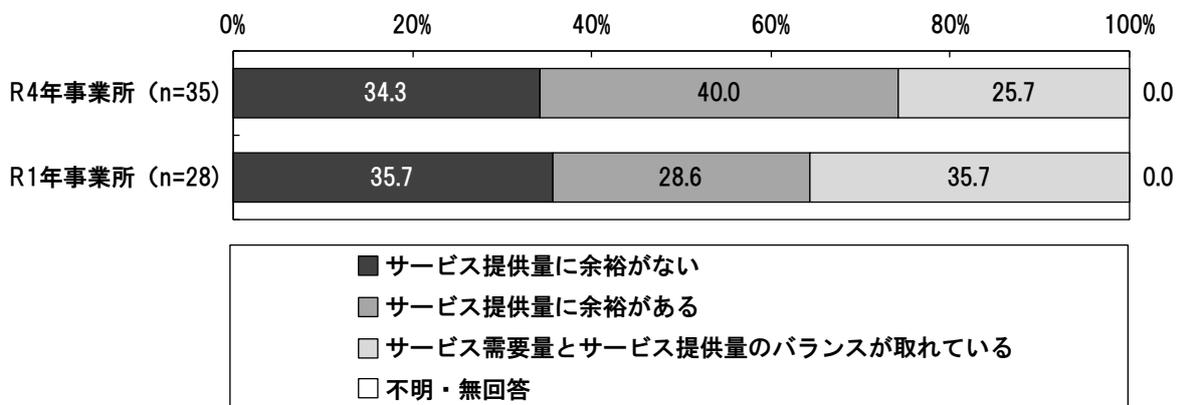
(1) 貴事業所の利用者数の状況についてお答えください。

◆前回調査より「減少傾向にある」が増加しています。



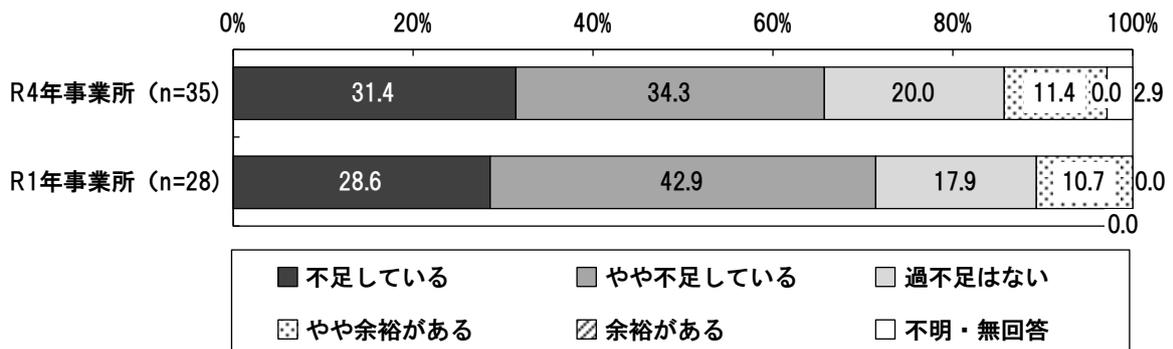
(2) 現在、貴事業所のサービス提供は、どのような状況ですか。

◆「サービス提供量に余裕がある」が増加しています。



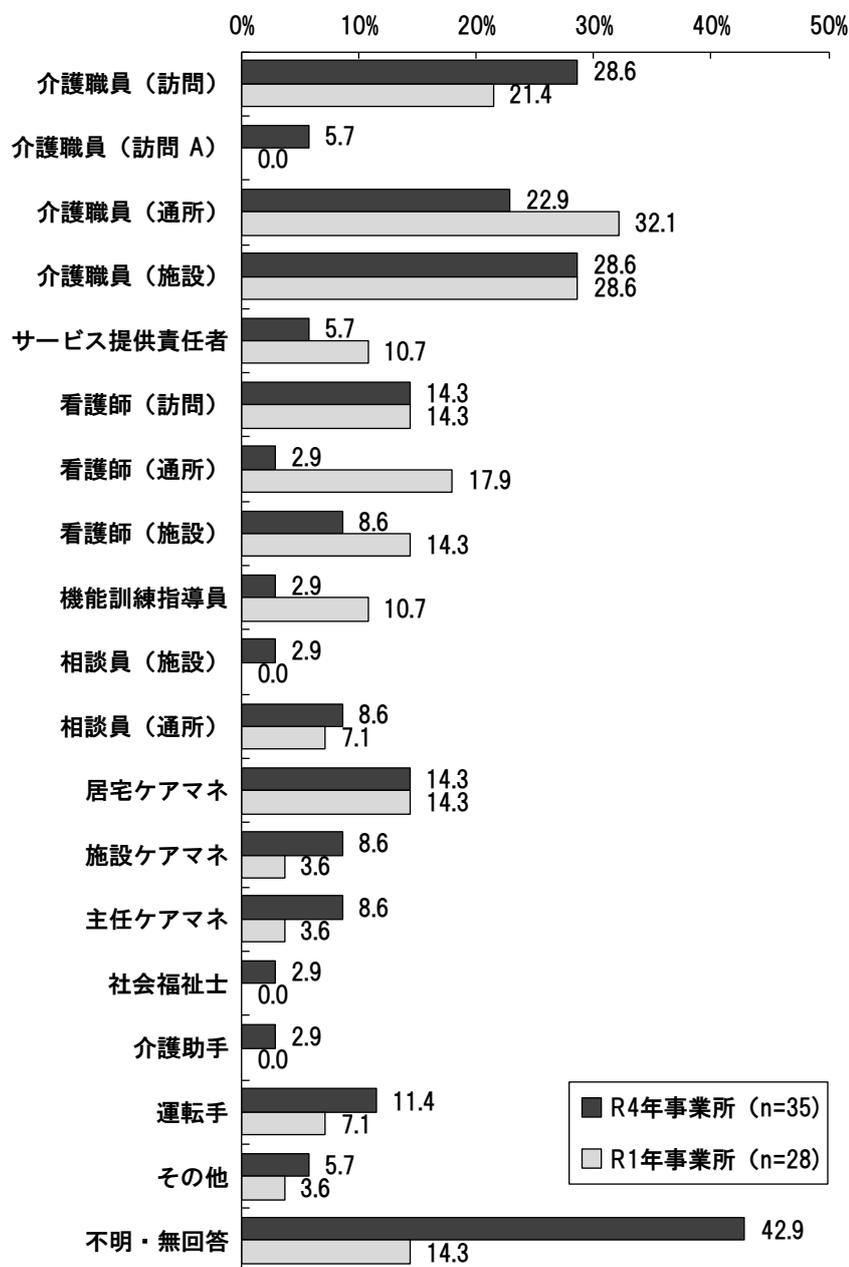
(3) 現在のサービス提供状況からみて、職員数の過不足はありますか。

◆職員数の不足は解消されたとはいいがたい状況です。



(4) 特に人材確保に苦慮している職種はどれですか。

◆介護職員という回答が多くなっています。



VI 介護人材実態調査の結果

(1) 開設から1年以上を経過している施設等にお伺いします。過去1年間の介護職員の採用者数と離職者数をご記入ください。

- ◆回答のあった48事業所(訪問系12、施設・居住系21、通所系15)の合計を示しています。
- ◆職員総数、採用者数、離職者数と昨年比の職員数は以下の通りです。いずれのサービス系統においても採用者数が離職者数を上回っており、職員数が増加しています。

	回答事業所数(事業所)	職員総数(人)			採用者数(人)		
		正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計
全サービス系統	48	401	443	844	90	97	143
訪問系サービス	12	79	126	205	23	23	34
施設・居住系サービス	21	250	217	467	44	43	73
通所系サービス	15	72	100	172	23	31	36

	回答事業所数(事業所)	離職者数(人)			昨年比(%)		
		正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計
全サービス系統	48	58	52	113	108.7	111.3	103.7
訪問系サービス	12	14	8	22	112.9	113.5	106.2
施設・居住系サービス	21	32	35	70	105.0	103.8	100.6
通所系サービス	15	12	9	21	118.0	128.2	109.6

(2) 採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください

◆正規職員の採用については、訪問系サービスで30歳代、施設・居住系サービスで40歳代、通所系サービスで50歳代が最も多くなっています。非正規職員の採用については、いずれのサービス系統も60歳代が最も多くなっています。

◆職員の離職については、正規職員では40歳代、50歳代が多くなっています。

採用者数		回答事業所数(事業所)	採用者合計(人)	採用者の年齢別割合(%)							
				20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	年齢不明
正規職員	全サービス系統	48	90	5.6	16.7	25.6	27.8	20.0	4.4	0.0	0.0
	訪問系サービス	12	23	17.4	13.0	47.8	17.4	4.3	0.0	0.0	0.0
	施設・居住系サービス	21	44	2.3	22.7	18.2	31.8	20.5	4.5	0.0	0.0
	通所系サービス	15	23	0.0	8.7	17.4	30.4	34.8	8.7	0.0	0.0
非正規職員	全サービス系統	48	97	3.1	3.1	10.3	17.5	23.7	42.3	0.0	0.0
	訪問系サービス	12	23	0.0	4.3	4.3	0.0	34.8	56.5	0.0	0.0
	施設・居住系サービス	21	43	7.0	4.7	11.6	23.3	11.6	41.9	0.0	0.0
	通所系サービス	15	31	0.0	0.0	12.9	22.6	32.3	32.3	0.0	0.0

離職者数		回答事業所数(事業所)	離職者合計(人)	離職者の年齢別割合(%)							
				20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	年齢不明
正規職員	全サービス系統	48	58	0.0	10.3	8.6	44.8	29.3	5.2	1.7	0.0
	訪問系サービス	12	14	0.0	7.1	7.1	64.3	21.4	0.0	0.0	0.0
	施設・居住系サービス	21	32	0.0	12.5	12.5	34.4	31.3	6.3	3.1	0.0
	通所系サービス	15	12	0.0	8.3	0.0	50.0	33.3	8.3	0.0	0.0
非正規職員	全サービス系統	48	52	5.8	3.8	15.4	25.0	19.2	17.3	13.5	0.0
	訪問系サービス	12	8	0.0	0.0	25.0	12.5	25.0	25.0	12.5	0.0
	施設・居住系サービス	21	35	8.6	5.7	14.3	25.7	14.3	17.1	14.3	0.0
	通所系サービス	15	9	0.0	0.0	11.1	33.3	33.3	11.1	11.1	0.0